

未来への報告書

2016 CSR report

つなげたい想いを、かたちに。



イオンモール株式会社



つねに、地域とともに、社会とともに。 暮らしの未来をつくる商業施設へ。

まちづくりを担うだけでなく、いつまでもお客さまとともに成長し、
満ち足りた時間、かけがえのない体験をもたらす
ショッピングモールであるために。私たちイオンモールは、
商業施設の枠組みを超えたチャレンジを続けています。

★ Top message



イオンモールの使命は、
まちづくりからライフデザインへ。
地域のニーズや時代の変化を捉え、
企業としての責任を果たします。

イオンモール株式会社
代表取締役

吉田 昭夫

当社はイオングループの中核企業としてショッピングモールの開発・運営を担い、2016年2月現在、日本国内、中国、アセアンに161のショッピングモールを展開しています。2015年度からは、＜イオンモールは、地域とともに「暮らしの未来」をつくるLife Design Developerです。＞という新たな経営理念を掲げました。

すでに国内では144のショッピングモールを展開していますが、全国各地のイオンモールは、同質化した支店のようなものではありません。ひとつひとつのモールが地域の特色を魅力的に映し出し、また周辺に暮らす皆さまのライフステージに応じたニーズを満たす商業施設であるべきです。そこで数年前から、「コンセプトモール」と称して特色や方向性をより明確に打ち出した新店を各地に展開し、そこにしかない魅力を追求してきました。加えて、既存モールの活性化にも積極的に取り組んでいます。

単なる改装ではなく、増床や大幅な専門店の入れ替えを行い、歳月を重ねても新鮮な発見や喜びに満ちたモールづくりを進めています。

本冊子でご報告いたしますとおり、当社はこれまで環境面や安全面でも先進的な取り組みを率先して導入し、さまざまなデータやノウハウを蓄積してまいりました。急速に環境意識が高まりつつある中国やアセアンへの出店にあっても、各国が打ち出す規制や基準の先を行く取り組みを自らに課し、新たな規範となるモールづくりをめざしています。人と環境に配慮したモールづくりを推し進め、地域の皆さまや社会からご支持をいただくことで、アジアNo.1商業ディベロッパーをめざしてまいります。引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

会社概要

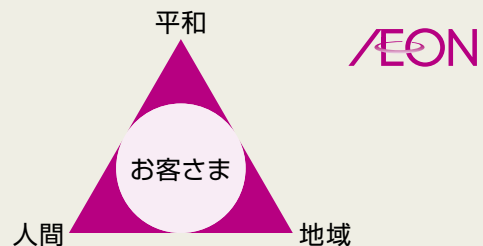
イオングループの中核企業として、日本全国、アジアで
ショッピングモールの開発・運営を進めています。



イオンモール沖縄ライカム

イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。



イオン（AEON）とは、ラテン語で「永遠」をあらわします。
私たちの理念の中心は「お客さま」：イオンは、お客さまへの貢献
を永遠の使命とし、最もお客さま志向に徹する企業集団です。

「平 和」：イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。
「人 間」：イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団です。
「地 域」：イオンは、地域のくらしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団です。

イオンモールの理念

基 本 理 念

お客さま第一

経 営 理 念

イオンモールは、地域とともに「暮らしの未来」をつくる Life Design Developerです。

※Life Designとは…商業施設の枠組みを越えて、一人ひとりのライフ
ステージを見据えたさまざまな機能拡充を行い、ショッピングだけで
なく、人との出会いや文化育成なども含めた「暮らしの未来」をデザ
インすること。

経 営 ビ ジ ョ ン

アジア50億人の心を動かす企業へ

- 私たちは、パートナーとともに、
地域の魅力を磨きつづける究極のローカライズに挑戦します。
- 私たちは、一人ひとりがLife Design Producerとして、商業施設の枠組みを
越え、新たな「暮らし」を創造する事業領域を拓き、成長し続けます。
- 私たちは、世界中の拠点をはじめとする全ての資産を活かし、永続的に
発展することで、強い財務体質と強固な事業基盤を構築します。
- 私たちは、革新し続けるプロフェッショナル集団です。
- 私たちは、お客さまに徹底して寄り添い、
生涯わすれえない思い出となる最良の体験を共有します。

コーポレート・メッセージ



ひとも、まちも、きらきら。

会社概要

社名	イオンモール株式会社
設立	1911年(明治44年)11月
資本金	422億1,710万円(2016年2月末現在)
事業内容	大規模地域開発及び ショッピングモール開発と運営 不動産売買・賃貸・仲介 [国土交通大臣(2)第7682号]
従業員数	3,683名(2016年2月末現在)

【編集方針】
この報告書は、イオンモール株式会社が果たすべき社会的責任の
目標と実績、私たちが携わるまちづくりについてのご報告と今後の
課題について記述しています。

【報告書の対象範囲】

対象組織	イオンモール株式会社 イオンモール株式会社に属するグループ企業と その管理する施設が原則となりますが、 環境指標については、イオンリテール株式会社から 運営受託を受けている70モールおよび、 mozo wondercity、 ショッピングセンター ソコカ ふじみ野、 神戸ハーバーランドumieを除きます。
対象期間	2015年3月1日から2016年2月29日 対象期間外の情報に関してはそのつど表記しています。 また社員の役職は2016年2月現在のものです。
発行	2016年5月

目 次

トップメッセージ	3
New Mall Information	6
特集①「多様性」に根ざしたモールビジネス	8
特集② インバウンド推進の取り組み	14
特集③ 海外におけるCSR	16
イオンモール CSRの「5つの柱」	20
地域とともに 継続的な地域社会への貢献	22
パートナーとの協力 健全で良好なパートナーシップの推進	26
社員の職場環境 すべての人が活き活きと働く職場の実現	28
モールの安全管理 不断の安全追求から生まれる安心の獲得	30
環境への配慮 地域から地球へ、環境保全の推進	32
コーポレート・ガバナンスに対する取り組み	36
イオンモール データ集	37
2015年度 CSR会計報告	40
第三者意見	42

New Mall Information

2015年度も各地に新たなイオンモールがオープン。
最先端でありながら、地域に根ざしたモールづくりを進めています。



イオンモール武漢経開（中国・湖北省）

中国 出店ペースをさらに加速。湖北省武漢市にフラッグシップモールが誕生

2008年に中国1号店をオープンした首都・北京では、南部に「イオンモール北京豊台」がオープン。各フロアにはテーマごとに編集した“こだわりのパーク”を配置し、進化した都市型ライフスタイルを提案します。また、華東エリアの江蘇省では、中国で初めて土地と建物を自社で所有する「イオンモール蘇州園区湖東」、続いて蘇州市3号店「イオンモール蘇州新区」をオープンし、ドミ

ナント化を進めています。そして、武漢市には中国最大の旗艦店となる「イオンモール武漢経開」がオープン。総賃貸面積10万㎡を超えるモールに当社のノウハウを集結しました（P16-17参照）。さらには、浙江省杭州市に「イオンモール杭州良渚新城」が、広東省広州市に「イオンモール広州番禺広場」が、それぞれエリア1号店としてオープンしています。

ASEAN インドネシアに1号店がオープン。ベトナムの首都ハノイにも初出店

ベトナム、カンボジアに続き、本年度はインドネシアにも1号店「イオンモールBSD CITY」をジャカルタの郊外バンテン州に出店。オープンから10ヶ月で1,000万人を

超えるお客さまにご来店いただきました。また、ベトナムでは同国3号店となる「イオンモール ロンビエン」を首都ハノイにオープンしました（P18-19参照）。

日本国内 個性豊かなコンセプトモールが各地にオープン

◆ ～ゆったりと過ごす、上質なひととき。『オトナドキ』～ イオンモール四條畷（大阪府） 2015年10月23日オープン

1F中央部に、「オトナの女性に向けた心地良い空間」をコンセプトとする“Re COLLECT（リ コレクト）”をゾーン展開するなど、オトナにご満足いただける都市型モールとしてオープン。敷地は四條畷市・寝屋川市の市境に位置しており、両市と防災などに関する協定を結んでいます。



都市近郊でありながら約4,100台もの無料駐車場を有し、オープンより毎月約100万人のお客さまにご来店いただいています。当モールのマーケットで最も多い「子育てがひと段落した団塊ジュニア世代」のライフスタイルを意識し、ハレの日のお買い物やオトナのニーズを満たすモールとしています。例えば、専門店の約25%を占める「食」の世界は1F～3Fにそれぞれのゾーンを形成し、それぞれの味を競い合っ

さんの採用においては両市で合同面接会を行いました。グランドオープン当日に地域における防災意識の向上を図りながら、地域と連携し協力体制を築きあげていく「地域防災協定」を締結しました。今後もさまざまな分野でモールを通じて地域との関係をいっそう深めていければと考えています。



ゼネラル
マネージャー
鈴木 秀一



◆ ～海と空を120%楽しむエンターテインメントパーク～ イオンモール常滑（愛知県） 2015年12月4日オープン

20万㎡超の広大な敷地を活かし、屋外体験型エンターテインメントパークを併設。中部国際空港を利用するお客さまのインバウンド対応を充実させたほか、レストラン街「常滑のれん街」に高さ約7mの巨大な「招き猫」モニュメントが着座するなど、地域の魅力も積極的に発信しています。



地域のお客さまを長い間お待ちせしての出店決定となり、建築中から注目の高さを実感していました。カート、アスレチック、お風呂などが楽しめるパーク「ワンダーフォレストきゅりお」を備え、「遊びに行けるイオンモール」として、知多半島はもとより名古屋市内、愛知全域、さらに県外からも広くご来店をいただき、週末には平均約145分と長く滞在をいただいています。常滑を象徴する高さ約7mの招き猫はSNSなどを通じて予想以上の反響を呼び、すっかり地元の名所となりました。また、常滑と縁の深い株式会

社LIXIL様とタイアップして世界最先端のトイレを設置するなど、すみずみまでエンターテインメントが息づき、館内はお客さまの驚きと笑顔にあふれています。今後はさらに空港から多くのお客さまをお迎えするとともに、目の前のりんくうビーチも活用してさまざまなイベントを企画しています。

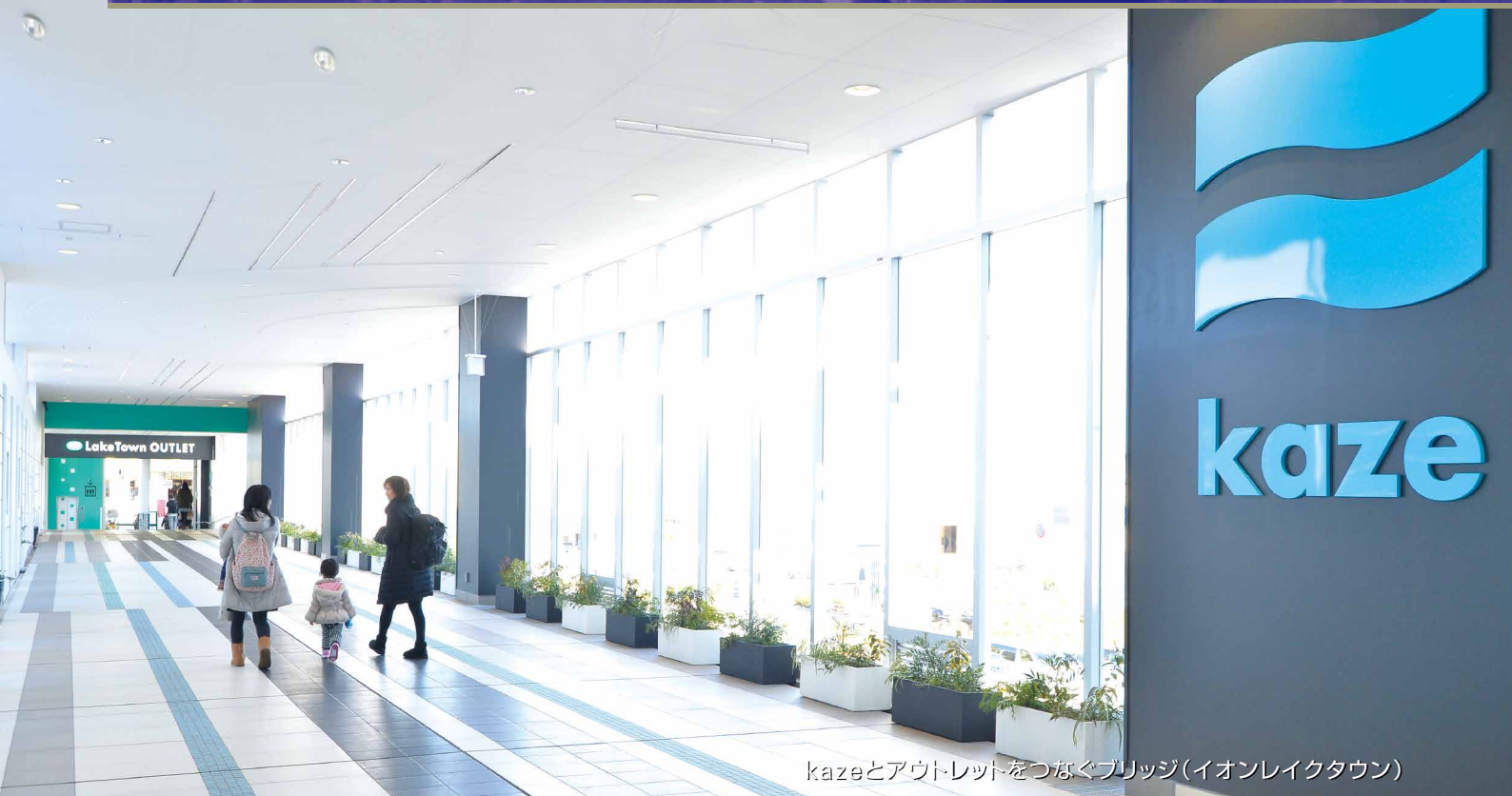


ゼネラル
マネージャー
岡田 拓也



「多様性」に根ざしたモールビジネス 新たな時代や環境への対応

すべてのイオンモールは、数年おきに定期的な活性化(リニューアル)を実施しています。時代の変化や地域の新たなニーズに対応するために専門店を入れ替えるほか、お客さまの安全性や利便性を高める工夫や先進的な環境設備の導入など、人と環境に配慮したモールとしての進化もめざしています。



kazeとアウトレットをつなぐブリッジ(イオンレイクタウン)

イオンレイクタウン(埼玉県)

◆ 年間来客数5,000万人超、国内最大級の商業施設を全面刷新

2008年10月にオープンしたイオンレイクタウンは、「kaze」「mori」「アウトレット」の3館で総賃貸面積183,000㎡に達する国内最大規模のショッピングモールです。2期にわたって実施した今回の活性化では、3館の性格付けをより明確にするとともに、専門店の7割以上にあたる509店舗でリニューアルを実施。kazeとアウトレットをつなぐブリッジを新設し、お客さまの利便性と回遊性が格段に向上しました。



越谷レイクタウン駅からの入口となる「レイクタウンゲート」周辺を刷新。屋根を設けて雨に濡れずにご来店いただけることによって入口の傘袋が不要になり、省資源にも貢献します。



kazeとアウトレットをつなぐ「レイクサイドブリッジ」を新設したことで回遊性は飛躍的に向上。お客さまが道路を横断する必要がなくなり、安全性の向上や渋滞の解消にもつながりました。



女性の美と健康、ライフスタイル提案をコンセプトとする「VIVRE GENE」を全20店舗で展開。(kaze)

イオンモールとなみ(富山県)

◆ イオン砺波店跡地にスクラップ&ビルドで新店をオープン



2013年に営業を終了したイオン砺波店をご愛顧いただいた地域の皆さまに新たなコミュニティ空間をご提案。富山県呉西エリアの新たな交流拠点となる施設をめざすとともに、砺波市が推進する3世代同居に応じて幅広いニーズを満たすコト・モノを展開します。当モールは、イオンリテール(株)が所有し、当社が管理・運営を受託しています。

モールの規模はそれほど大きくありませんが、地域に多い3世代のお客さまにはほどよい広さで、従業員も含めて家族的なコミュニティを形成していきたいと思えます。耐震性能をはじめ安全面も大幅に強化し、LED照明の採用や井戸水を利用した融雪設備などの導入により環境負荷も低減しています。

ゼネラル
マネージャー
藤田 有作



イオンモール盛岡(岩手県)

◆ オープンから12年を経て大規模リニューアルを実施



2003年にオープン。地域のお客さまに常に新鮮なモール環境をご提供することを目的に、2期にわたって合計102店舗を刷新。2階の増床ゾーンには新たに「銀河モール」が誕生しました。施設面においても「MORIOKA Trad」をコンセプトに、南部鉄器や南部紫など盛岡の伝統をモチーフにした外装デザインの刷新や館内環境の整備を行いました。

100以上の生産者と契約して岩手県産の商品だけを集めた「もりおかん」、増席したフードコートも好評をいただいています。最新の空調設備やLED照明、排水の除害設備の導入などにより、環境面でも大幅に進化しました。シニアの皆さまにも愛されるモールとして、地域との関係づくりを深めてまいります。

ゼネラル
マネージャー
石飛 正展



● 3館の密接な連携で、最大規模のリニューアルを実現

グランドオープンから約7年を経て、イオンレイクタウンは多くのお客さまにご愛顧いただく一方で、飲食店の不足、回遊性の偏りなどの課題も抱えていました。お客さまの利便性をさらに高めるとともに、専門店の入退店で曖昧になっていたゾーンコンセプトも再構築するために、全館をあげて大規模なリニューアルを実施しました。今回の活性化では3館の連携をより強化し、同業種の専門店が同時に閉店しないようにするなど、できるだけお客さまにご不便をおかけしないよう配慮し、きめ細かく工程を管理しました。その結果、kazeでは6割の店舗が閉店していた時期も従来の約85%の来店客数を保持。お客さま離れを最小限に抑えつつ、工事中の仮囲いなどを効果的に利用してリニューアルへの期待感を高めました。各館ではゾーニングを全面的に見直し、駅に直結するkazeは若年層や女性を意識した先端的な都市型モールに、moriは30～40代の夫婦とお子さまや3世代が楽しい時間を過ごせる生活創造型モールへ、そして気軽にアクセスできて

広域集客も望めるハイブリッド型のアウトレットへと、それぞれの館の位置づけがいっそう明確になりました。また、オープン当初よりエコモールとして先進的な取り組みを導入していたイオンレイクタウンでは、お子さまを対象にした「エコ探検ツアー」や、行政・企業・市民による地域のイベント「Act Green ECO WEEK」を継続して実施。今回のリニューアルに合わせて「育樹祭」も実施し、新たに約400名のお客さまが約2,000本の樹木を植えました。おかげさまで、2016年の初売りでは元日だけで前年を5万人ほど上回る約25万人のお客さまにご来店いただくなど、好調な再スタートを切ることができました。リニューアルを経験したスタッフは、マーケットを見る視点が養われ、同じゴールをめざしてさまざまな部署や専門店と連携したことで、その後の日常業務にも好影響が出ています。反省点も含めてノウハウとして蓄積し、新たな機会に活かせたらと考えています。

イオンレイクタウン
【左】 kaze ゼネラルマネージャー 清田 宏道
【中】 mori ゼネラルマネージャー 秀方 純
【右】 アウトレット ゼネラルマネージャー 佐々木 康友



「多様性」に根ざしたモールビジネス 究極のローカライズへの挑戦

2015年、当社は経営ビジョンを一新しました(P5参照)。その冒頭に掲げたのが、パートナーとともに地域の魅力を磨きつづける究極のローカライズへの挑戦。それぞれのモールの自主性を重視し、地域の皆さまのご協力をいただいて新たな取り組みをスタートしています。



究極のローカライゼーション企画(イオンモール佐久平)

「究極のローカライゼーション企画」を初めて実施

新たな経営ビジョンを具現化するために、2015年秋に「究極のローカライゼーション企画」を実施しました。当社が国内で管理・運営する143モールに勤務する、若手を中心とした従業員から提案された195企画の中から23企画を選定。それぞれのモールが立地する地域の魅力を産(企業)、学(教育機関)、官(行政)、民(団体)、文(文化)とコラボレーションしました。

◆「自分たちの仕事」に取り組む機会を各モールに

この「究極のローカライゼーション企画」を実施した最大の目的は、地域にふさわしい企画を各モールで立案し、「自分たちの仕事」として進めてもらうことにありました。モールの規模にかかわらず、予算は一律に150万円。私も若い頃に上司から「10万円で何かやってみろ」と言われて真剣に取り組んだ経験があります。ともすれば与えられた仕事をこなすのに精一杯になりがちなか日常の中で、地元で詳しいフレックス社員や若手社員に「自分たちの仕事」に全力で取り組む機会を持ってほしかったのです。企画を型にはめてほしくなかったため、応募段階ではあえて各モールのマネージャーたちに口を出さずと指示しました。

70くらい集まればいいと思っていたところ195という応募数は予想以上で、23に絞り込むのに苦労しました。右でご紹介しているのは特に優れた事例ですが、どのモールでも、日頃の職務分担を超えて心をひとつに取り組んだ実感を味わってもらえれば、実施した価値があると考えています。各モールからのアイデアは社内ですべてに閲覧できるようにしていますので、どんどん参考にしていればと思います。

取締役 営業本部長
藤木 光広



優秀賞 「ケーキのまち 佐久」 イオンモール佐久平(長野県)



新鮮なフルーツ、卵、牛乳が手に入り、「日本三大ケーキのまち」と呼ばれる佐久。そのケーキの魅力をさら

に広く知っていただこうと、セントラルコートに1日限定の「Café de MALL」をオープン。佐久の特産「りんご」をテーマとした試食用のケーキを地元の6店にご提供いただきました。

優秀賞の知らせを聞いたときはあまり実感がなかったのですが、チームのみんなと顔を合わせるたびに「やった〜!」とだんだん実感がわいてきました。実現するまではたいへんでしたが、フレックスチームで頑張れたことが本当によかったと思いました。

【企画担当者】
清野 都子/佐藤 もなみ/
吉沢 俊彦/倉持 梨栄子/
篠原 まり子



優秀賞 「そうだ! イオンモールがある!!」 〜イオンモール新居浜で防災体験〜 イオンモール新居浜(愛媛県)

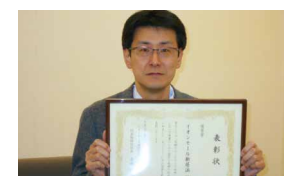


万が一の際に当モールが地域の皆さまに安全と安心を提供できる施設となるために、防災に関するイベ

ントを企画しました。災害時を想定した館内宿泊体験「イオンモールに泊まろう」では、100名の親子が館内で非常食を体験したり、ダンボールで寝床を作ったりして一夜を過ごしました。

ゼロからの発想で企画し、さまざまな壁を乗り越え、不安や時間と闘いながら、「この企画を絶対成功させてやる」との想いで取り組み、ほぼ満足できる内容で実施できました。参加者の方に喜んでいただき、会社からも評価していただけて、納得いくまでやり通してよかったと思います。この経験は自分自身にとっても財産になりました。

【企画担当者】
浅井 重雄



◆「全国伝統的工芸品フェスタ in 富山」を開催

イオンモール高岡(富山県)



2015年11月に「全国伝統的工芸品フェスタ in 富山(主催:経済産業省ほか)」が開催されました。メイド・イン・ジャパンの魅力をより幅広い世代に身近に感じてほしいという主催者側のご要望も受けて当モールがサブ会場となり、作品展やトークショーを開催しました。もともと高岡は伝統工芸が日常に息づいており、当モールでも工芸品の展示や販売を行ってきた実績があったからこそのお話だと思います。会場を巡回する無料バスの

運行にも協力しました。開催日の3日間で36,592人のお客さまがご来場され、たいへんご好評をいただきました。地域一体となったイベントで大きな役割を果たし、地元の皆さまとの関係もいっそう深まりました。今後もモールがこうした文化振興の拠点となり、将来的には、ものづくりの制作風景が日常的にモール内で見られるようにできたらと思います。

ゼネラルマネージャー
重松 雅人



「多様性」に根ざしたモールビジネス ダイバーシティの推進

当社は国籍も性別も雇用形態もさまざまな従業員の集合として成立しています。
その一人ひとりが能力を発揮するために、私たちはどんな企業であるべきか。
それぞれに立場の異なる従業員の声をご紹介します。



ワークライフバランスの実現

◆ 育児休暇が明けてチームの成長を実感 男性もプラス面に目を向けて積極的に制度利用を

イオンモール川口前川(埼玉県)に赴任中の2014年12月30日に次女が生まれ、年明けの繁忙期が過ぎてから43日間の育児休暇を取得しました。

両方の実家から離れた地で出産することになり、2歳上の長女の面倒を見る必要もありましたので、予定日の半年ほど前に上司に育児休暇について相談してみました。自分はマネージャーとしての責任を放棄しているのではないか、という思いもありましたが、上司は快く承諾し、負担をかけることになる部下も「ぜひ休暇を取ってください。これからはそういう時代ですよ」と言ってくれました。周囲の心遣いに感謝しつつ、2ヶ月ほど前から丁寧に引き継ぎを行ったうえで休暇に入りました。

育児休暇中は、妻を手伝うというよりも家族の一人として当然に家事や育児をこなすように心がけました。やはり4人そろって過ごすことで家族に安心感が生まれ、絆も深まったと感じています。

休暇中は自分が本当にここにいていいのかと思うことも何度ありましたが、職場に戻ると、部下たちが見違えるように成長し、自分たちで判断して仕事をこなしているのに驚きました。子どもがいるいないに関わらず、日頃から多様な働き方を互いに認め合い、何かあったときに周囲がカバーできるようにしておくのは大切なことだと思います。

出産・育児・介護などと仕事をどう両立させるかは、個人的な問題であると同時に会社や社会全体で解決すべき問題でもあります。これをひとつのモデルとして、多くの男性社員が当たり前のよう育児休暇を利用する企業風土が育まれることを願っています。

管理本部 経営企画部
CSR推進グループ マネージャー
川口 宗良



◆ 母親視点でのモールづくり 育児をしつつ仕事のチャレンジも続けます

男性の多い部署ですが、「プライベートも大事にする」という共通認識があり、産休を申し出ることにはためらいはありませんでした。産休から、約8ヶ月の育児休暇を経て復職。夫と協力しながら、子育てと仕事の両立をめざし、忙しくも充実した日々を過ごしています。

仕事をしていく中で、出産や育児が壁になると感じたことはありません。出張の少ない関東エリア担当として復職させていただき、子供が病気になった際なども周囲が働きやすい環境を作ってくれていることを実感しています。また、母親としての経験は、自分の視点をお客さま目線に近づけてくれており、企画業務を行う上で大きな糧となっています。これからもアセアンでのモール企画という希望を胸に、さまざまな挑戦をしていきたいと思っています。

開発本部 建設企画統括部
企画開発部
今 理子



◆ ローカルスタッフの立場や視点を活かした 専門店サポートをめざします

2009年よりフレックス社員(パートタイマー)としてイオンモール高岡の事務所に勤務しています。パートでも、育児休暇の取得や社会保険の加入制度があることが魅力でした。実際に途中1年2ヶ月の育児休暇を経て復職しています。現在の主な業務は、飲食店の営業サポートです。学生時代から利用している愛着のあるモールで、地域住民としての知識や経験と、ローカルスタッフならではの親しみやすさを強みに、専門店の皆さまと関わっていけたらと思います。重圧を感じることもありますが、チャレンジできる環境があるのは恵まれていますね。フレックス社員からコミュニティ社員(勤務地を限定した社員)に登用される制度もあると聞いています。将来的にチャレンジできるよう、日々の業務に取り組み、成長していきたいと思っています。

イオンモール高岡
営業担当
島田 啓子



◆ 公平性の原則のもと、それぞれが力を発揮できる組織へ

企業のダイバーシティと言えば管理職の女性比率などが注目されますが、性別、国籍、年齢などにかかわらず、公平性の原則のもとで能力にふさわしい活躍をしていただくのがダイバーシティの本質だと認識しています。ここ3年ほどは新入社員も女性の数が男性を上回っていますが、あくまで機会均等のもとで選考した結果で、入社後も性別によって評価の基準が異なることはありません。

そのうえで、当社では女性が結婚・出産を経ても働き続けやすい環境の整備を進めてきました。現在では60以上のモールに直営ないし専門店として保育園が店舗しており、従業員も利用しています。2016年3月には人事統括部の組織下に「ダイバーシティ推進グループ」を新設し、女性がキャリアを積み重ねていくための新たな制度設計づくりにも着手しています。性別を問わず、従業員が長く働ける環境づくりには今後も注力してまいります。

海外のモールについては、できるかぎりローカルスタッフ

で運営することを原則にしており、中国ではすでに現地採用の社員3名がゼネラルマネージャーに1名が開設委員長に就任しています。国内で新卒採用する外国籍社員については、現場で経験を積み、管理職に就けるレベルまで育成してから海外で活躍していただくというのが基本的な方針です。

また、急速な拠点の拡大に伴って、グループ他社からの異動や中途のキャリア採用なども活発に行っており、さまざまなバックグラウンドの従業員が集まっています。それぞれがふさわしい職場で能力を発揮しながら成長できる企業をめざしてまいります。

常務取締役 管理本部長
兼 中国担当
梅田 義晴



インバウンド推進の取り組み ソフト/ハード両面から対応を強化



フォトスポットとして外国人観光客にも人気の招き猫（イオンモール常滑）

イオンモール常滑（愛知県）

◆ 中部国際空港の足元で、“JAPAN HOSPITALITY”を追求

1,000万人を超える年間旅客数を誇る中部国際空港の対岸部。愛知県常滑市にオープンしたイオンモール常滑では、ソフト／ハードの両面から日本ならではの細やかな「和のおもてなし」をご提供しています。



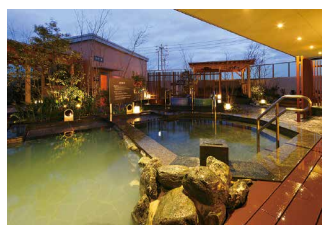
空港とモールを約15分でダイレクトに結ぶ無料シャトルバスを運行。土日・祝日は増便対応しています。



中部国際空港の国内外出発情報を館内で確認できるため、出発前でも安心してショッピングを楽しめます。



日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語に対応するサインを設置しています。



潮風を感じる大露天風呂をはじめ12のお風呂が揃い、「日本のくつろぎ」を手軽にお楽しみいただけます。



常滑と縁の深い（株）LIXIL様とタイアップし、日本が世界に誇る最新のトイレをご利用いただいています。



語学も堪能な「歩くインフォメーション」のアテンダーが館内を巡回し、お客さまのご案内をしています。

イオンモール成田（千葉県）

◆ 日本の玄関口で、多種多様なお客さまのニーズをつかむ



当モールには、年間8,000台以上のツアーバスや周辺ホテルからのシャトルバスを中心に、多くの外国人のお客さまが来店し、免税売上は総売上の7～9%に達しています。

最近では中国のお客さまに並んでタイからのお客さまが急増しているほか、あらゆる国のお客さまを日常的にお見かけします。旅行者だけでなく、航空会社勤務の方が外国人の2割以上を占めるのは成田ならではの特色です。

以前から当モールは外国人のお客さまの利便性に配慮していましたが、ここ数年の急速なインバウンド需要増加に対応して、一括手続きができる免税カウンター、英語・中国語に対応

できるインフォメーション、外貨両替機などを設置したほか、同友店事業として専門店従業員を対象とした外国人対応研修を実施するなど、取り組みをさらに強化してまいりました。インバウンドをめぐる状況は刻々と変化しています。2015年末には大規模なアンケートを実施し、どんなお客さまがどんな目的で来店しているかを調査しました。帰国前に立ち寄るだけでなく、ご到着直後、そして滞在中にもそれぞれ同じくらいのご利用があるなど、新たな発見がありました。さらに調査結果を分析してきめ細かくニーズへの対応を行い、多くのお客さまをお迎えしたいと考えています。

ゼネラルマネージャー
加藤 拓也



言葉の壁で接客が難しいという声もありますが、言葉が通じないこと自体はお客さまはそれほど気にされていません。過剰に意識することなく、日本人のお客さまと同じように自然にお迎えいただければと思います。飲食店については、ベジタリアン向けのメニューを用意できるかなど、各専門店と相談をしながら対応を進めています。

営業担当
齋藤 雪絵



インフォメーションに立ち寄るお客さまの約6割が外国人の方です。カウンターに立つスタッフ10名のうち7名は英語・中国語のご案内が可能で、韓国語、タイ語が話せる者もあり、できるだけお客さまの使う言語でわかりやすくご案内するように心がけています。

インフォメーション担当
株式会社センチュリーアンドカンパニー
関東インフォメーション事業部
営業コーディネーター
小林 礼美様



◆ さらなるポテンシャルを引き出すために

インバウンド推進グループでは、全国で37モールをインバウンド強化モールに指定してインフラ整備、集客施策を進めています。ワンストップで効率よくショッピングできるイオンモールの利便性は旅行者にとって大きな魅力です。地方へ足を運ぶリピーターも増えていることから、当社が強みを発揮する余地はまだまだ残されていると見ています。今後は、海外のイオンモールやグループ他社

の商業施設、イオンクレジット会員などのチャネルを活用して告知強化やブランディング向上を図るとともに、海外の旅行博でもPRを行う予定です。

営業統括部
インバウンド推進グループ マネージャー
趙 明



海外におけるCSR 中国・旗艦店からのレポート



イオンモール武漢経開

イオンモール武漢経開(2015年12月10日オープン)

◆ 当社のノウハウを結集した 中国のフラッグシップモール

副都心として開発が進む湖北省武漢市の経済技術開発区に、総賃貸面積約10.5万㎡、駐車場約4,000台、約300の専門店が集結する中国最大のイオンモールが誕生しました。「五感+心で感じる楽しさ」をコンセプトに、各エリアでコレクションゾーンを展開するライフスタイルモールです。



夜間はモール全体が刻々と変化するイルミネーションで彩られ、幻想的な雰囲気演出。さまざまな輝きでお客様をお迎えします。



館内1Fに武漢市公安局の公安所を設置。防犯や消防の訓練も共同で実施しています。

◆ 「イオンモールとは何か」を体現する旗艦店へ

湖北省の省都・武漢市は人口約1,200万人の成長著しい工業都市です。2011年に武漢市人民政府と当社は5年以内に5箇所のモールを出店する協力協定を締結しており、こちらは2014年12月にオープンした「イオンモール武漢金銀潭」に続く2号店ですが、どちらも広い駐車場を設けていることでたいへん盛況です。日系企業や日本製品に対するお客様の関心も高く、これも差別化ポイントのひとつと捉えています。

オープンまでには難しい問題が多々ありましたが、政府の協力をいただき、1号店での経験も活かしてオープンすることがで

きました。湖北省の他のエリアや近隣の省からも注目を集め、多くの視察などをいただいています。スケールだけでなく、店揃えや運営においても「イオンモールとは何か」を体現する旗艦店として、中国における今後の開発モデルとしていきたいと考えています。

イオンモール(湖北)商業管理有限公司
董事總經理
五十川 清成



2008年に北京へ中国1号店を出店してから約7年、今年度は江蘇省、浙江省、広東省と、新たなエリアへの出店が相次ぎました。また武漢(湖北省)では、2015年12月にイオンモール中国最大のスケールとなる旗艦店「イオンモール武漢経開」がオープンしました。

◆ 日本発のショッピングモールとして、おもてなしに注力

事前に広域への告知活動や日系企業へのPRに力を入れてきましたが、12月10日のグランドオープンから年末までのご来店が100万人を超えるとは予想以上でした。多くのお客様は日系の商業施設ということをご存知で、さすがに日本企業が造った施設はクオリティが高いという声をいただいています。1号店の武漢金銀潭に続いて、ここでもお客様をおもてなしの心でお迎えすることに力を注ぎました。まずは向上心の高い従業員を確保するために、無料通勤バス、従業員食堂、従業員教育の3点が揃っていることをアピールし、2度の合同求人募集

説明会を開催。そこで約3,000名の雇用のうち8割近くを採用しました。また、オープン前には8日間の店長研修、14日間の従業員研修を実施し、おもてなしのできる従業員を育ててきました。さらなる接客レベルの向上をめざしてロールプレイングコンテストも企画しています。お客様に気持ちよく過ごしていただき、何度でも来たくするようなモールをめざしています。

ゼネラルマネージャー 佐々木 清博



◆ 環境評価基準制度「緑色二星(設計)」を取得



緑色の環境評価は日本で言えばCASBEEに似た制度で、建築のみならず敷地を含めた周辺環境全般を対象にしており、商業施設が星を2つ取得するのは難しいと言われます。このモールは自社物件ということもあり、日本国内のモールと同様に太陽光発電、コージェネレーションシステム、中水利用などを採用して環境負荷の低減を徹底したことが設計段階での認証につながりました。ただ、いかに先進的な設備

も、現地の供电局(電力会社)やパートナー企業との連携がなければ思うように稼働させることはできません。根気強い折衝が求められますが、目に見える成果を出して運営面での評価につなげていきたいと考えています。

イオンモール武漢経開商業管理有限公司
建設部 総経理 田村 仁志



◆ 働きやすい環境が整っています

イオンモールはとても働きやすいですね。オープン前には接客や身だしなみの研修もありましたし、休憩室は広くてゆっくり休めます。完全分煙されているのが中国では珍しく、煙草を吸わない私には嬉しいです。苦勞といえば、お店から従業員用のトイレが遠くて忙しい時に行きにくいことくらいでしょうか。親戚や友達も、みんな広くてきれいなことに驚いていました。

「ニトリ」
陳 曼様



◆ イオンモールの価値が浸透し、既存モールも順調に推移

開発が先行した北京・天津エリアでは、駐車場の広さ、お子さま連れでのショッピングのしやすさ、飲食店の多さなど、他の商業施設にはない魅力が地域の皆さまに浸透し、郊外への人口シフトと相まって特に3世代ファミリーから高い支持を得ています。2008年にオープンした1号店のイオンモール北京国際商城では、大規模なリニューアルやトイレの改装を経て、オープン当初の約3倍のお客様が来店されています。すでにのべ4人の中国人がゼネラルマネージャーに就任したほか、接客ロールプレイ

ングコンテストが実施されるなど、ローカルスタッフのモチベーションも高まっています。PM2.5に関する報道をきっかけに環境への意識も急速に高まっており、エコモールとしての当社の取り組みも注目を集めています。

イオンモール(中国)
商業管理有限公司
董事總經理
中根 健



海外におけるCSR アセアン各国での展開



イオンモール ロンビエン

イオンモール ロンビエン(2015年10月28日オープン)

◆ ベトナムの首都に、初めてのイオンモール オープン

2015年10月、首都ハノイに初めてオープンしたベトナム3号店、イオンモール ロンビエン。ハノイ市の中心部にあるホアンキエム湖より東に約5km、道路整備や住宅開発が進む新興住宅エリアに約180の専門店が集結しました。ベトナム国内最大級のシネマコンプレックス、ハノイ最大級のこども室内遊園地、ボーリングなど幅広い世代が楽しめるエンターテインメントが充実するほか、さまざまなシーンに対応する食の場を提供。「Japanese Heart, Vietnamese Smile」をコンセプトに、心のこもった最高のおもてなしでお客さまをお迎えします。



● 宮城県の魅力をベトナムの皆さまにご紹介。「Miyagi Shop」がオープン



宮城県産品の販路拡大を目的に、イオンモール ロンビエンに期間限定で宮城県のアンテナショップをオープンしました。水産加工品やお米、お菓子などを販売しています。輸入が制限される食品があるなど課題はありますが、今後も積極的にさまざまな地域の物産展などを開催し、日本の魅力をPRしてまいります。

ベトナム、カンボジアに続き、インドネシアの1号店として首都ジャカルタ郊外にエリア最大級のショッピングモール「イオンモールBSD CITY」をオープン。また、ベトナムで3番目となるイオンモールが首都ハノイにオープンしました。

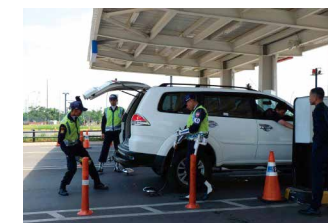
イオンモールBSD CITY(2015年5月30日オープン)

◆ インドネシア1号店が待望のオープン

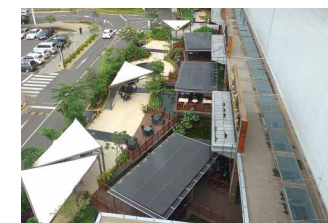
2015年5月、ジャカルタ南西部で開発が進むバンテン州・BSD地区にオープンしたイオンモールBSD CITY。「FOR YOUR SMART LIVING」をコンセプトに、日本発の47店舗を含めた約280店舗が集結し、新しいライフスタイルをインドネシアの皆さまにご提案します。



色々な味が堪能できるよう7店舗を集結した「ラーメンビレッジ」



入場時に車両のセキュリティチェックを実施



カフェストリートの庇上部に結晶太陽電池モジュールを設置



敷地内の各所に緑豊かな植栽を配し、自然と調和する環境を創出

オープンから10ヶ月間で約1,000万人のお客さまにご来店いただき、年間来客数1,200万人の目標達成に向けて順調に推移しています。インドネシアのお客さまがショッピングモールに来店する最大の動機は「飲食」です。当モールでも飲食店の比率を全体の約40%とし、質・量ともに充実した店揃えを実現しました。日本食やラーメンもたいへん喜ばれています。

運営・管理においては、お客さまの安全を第一に考え、駐車場のゲートで不審物の持ち込みがないか全車両を点検し、モールの各入口でも手荷物検査を実施しています。一般的に、こちらの他の商業ディベロッパーは固定賃料制で専門店に対してほとんど協力も干渉もせず、専門店もそれ

を当然と考えています。そのなかで、専門店とモールが一致協力してモール全体を盛り上げていくという私たちのスタイルをどこまで浸透させることができるか。これが目下の課題です。

1号店を成功させてインドネシアでの展開を軌道に乗せるべく、イオンモールのブランド力や価値を高め、安全で快適な環境のもと、つねに新鮮さのあるモールづくりに努めてまいります。

ゼネラルマネージャー
磯部 大将



◆ アセアンでのリーシングについて

アセアンのモールにおける専門店のリーシングは、現地で編成したリーシングチームの主導で進めています。国内のモールで培ったノウハウをそのまま持ち込むのではなく、現地を知るスタッフの知識や経験を融合することが必要です。私たちは彼らと連携して日本の専門店および各国に未進出の専門店を紹介する役割を担います。

出店に興味を持ってくださる企業さんは多いのですが、各国の1号店の場合は過去の実績やデータに基づく

お話が難しいところがあります。特にインドネシアは規制が厳しく、日本からの出店はハードルが高いですが、法改正により開放する動きもあります。日本のディベロッパーとして、日本の製品や文化を伝える専門店がアセアンに出店し、成功するためのお手伝いをしてまいります。

アセアン本部
アセアンリーシング部 部長
八幡 めぐみ





イオンモール CSRの「5つの柱」

ISO26000 に対応する「5つの柱」をベースに、社会的責任を果たしてまいります。

私たちの仕事は、
ショッピングモールを通して、地域とともに「暮らしの未来」をつくること。

そのためには、地域社会との確かな信頼関係づくり、
環境への配慮、安全性のさらなる向上などに対する継続的な取り組みが必要です。
従って、当社では本来の企業活動とCSRが密接にかかわっており、
あらゆる部署の従業員が日常の業務を通して社会への責任を
果たすことが求められています。

このような考えから、当社では社会的責任に関する初めての国際規格である
ISO26000をふまえて、5つの柱をベースに
CSR活動を推し進めています。

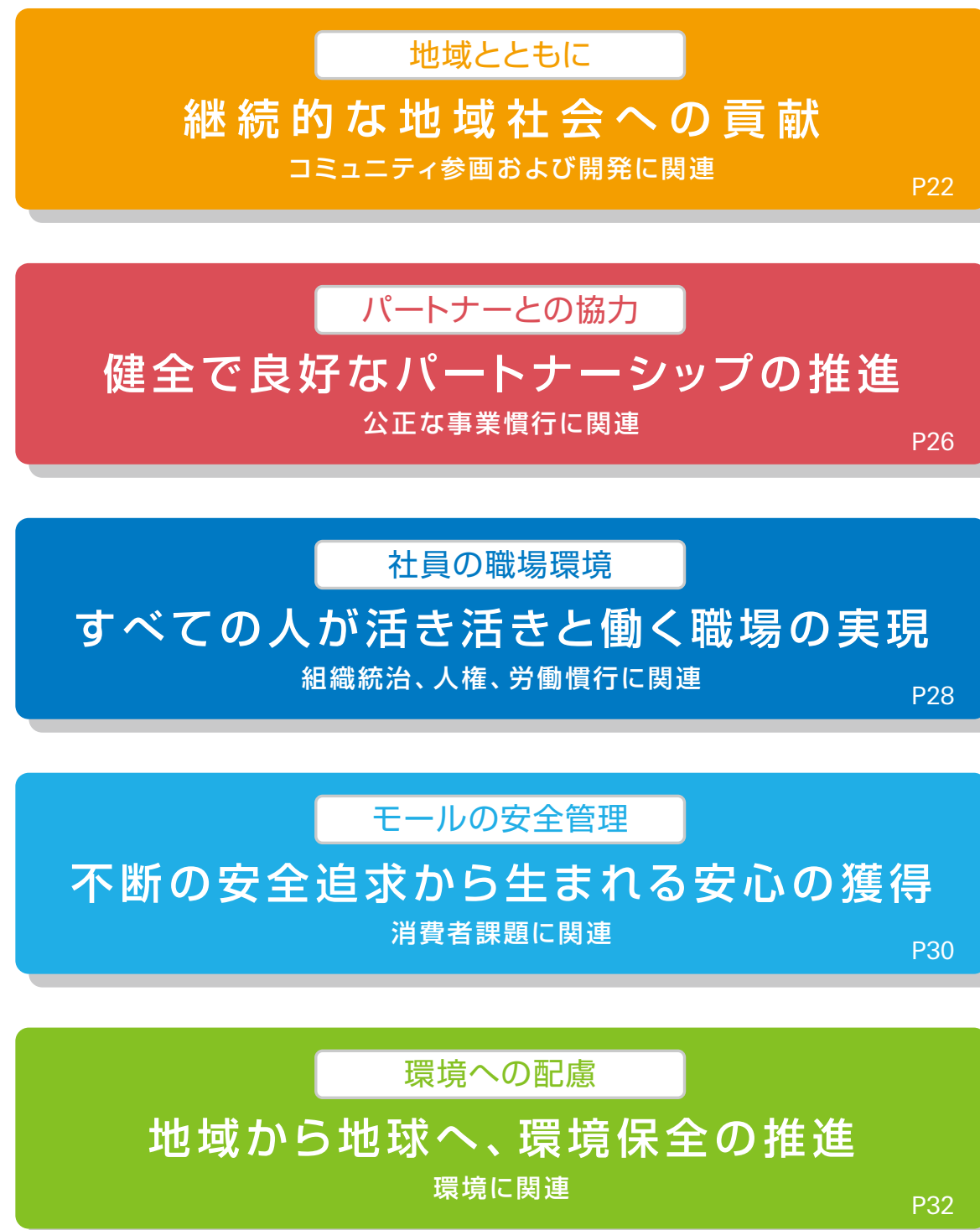
● ISO26000が定める7つの中核主題

- | | | | |
|-----------|---------|-----------------|------|
| 1.組織統治 | 2.人権 | 3.労働慣行 | 4.環境 |
| 5.公正な事業慣行 | 6.消費者課題 | 7.コミュニティ参画および開発 | |

● CSR推進体制図



● イオンモール CSR「5つの柱」の構成



地域とともに

パートナーとの協力

社員の職場環境

モールの安全管理

環境への配慮



継続的な地域社会への貢献

私たちは人々が求める真の貢献を実現するために、その地域に密着し、交流を深めることで問題を共有し、その解決に努めます。



クリーン&グリーン活動（ベトナム）

モールウォーキングイベントで地域の皆さまの健康を増進(イオンレイクタウン)

イオンレイクタウン(埼玉県)では、オープン当初から約7年にわたって、ウォーキングドクターのデューク更家氏およびデュークスウォーク講師のご指導により「モールウォーキング」を毎週実施しています(後援：埼玉県)。モールの館内を健康目的で歩くこのイベントは、毎回約70名から100名ほどのお客さまが参加され、中には2年以上にわたって毎週参加されている90歳の男性もいらっしゃいます。デュークスウォークによるモールウォーキングは、他にも全国6箇所のイオンモールで実施しています。



正しい歩き方を、楽しく学べる場に



何よりもみなさんが楽しく参加できることを大切に考えて指導をさせていただいています。長く参加している方は姿勢がきれいになり、多くの方が腰や膝の痛みが改善したとおっしゃってくださいますね。季節や天候にかかわらず快適に歩いて、段差などの障害物がなく、夜間も明るく

安全ですから、イオンモールの館内はウォーキングに最適な環境です。イオンモールさんには、いつも運営をサポートいただいています。これからも皆さまとともに、楽しみながらウォーキングの魅力を伝えていきたいと思います。

デューク更家公認
ウォーキングスタイリスト
井上 レイラ様
久保 貴鈴様

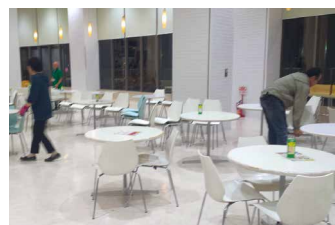


地域と連携したリユースの取り組み(イオンモール盛岡)

イオンモール盛岡(岩手県)では、2015年のリニューアルで不要となり廃棄予定だったフードコートの椅子231脚、クッション椅子20脚、丸テーブル17台について、社会福祉法人盛岡市民福祉バンク様へ譲渡。同法人様は、引き取った椅子/テーブルを身体に障がいを持つ方によってクリーニングのうえ販売し、収益は障がい者の賃金向上や雇用拡大に充てられました。廃棄物、廃棄コストの削減を実現するとともに、地域への貢献として同法人様から感謝状をいただきました。



モールの不要物を資源として有効活用できました



当法人は1975年の設立以来、障がい者が働ける場を創出するために、市民の皆さまから回収した不要物を修理・研磨して販売し、収益を福祉事業に役立てています。

ひとつの企業からこれほど大量の備品をまとめて引き取る

機会はなかなかありませんが、みんなで裏側まで丁寧に磨き上げて販売したところ、福祉関連の施設や一般のご家庭にたいへん好評をいただき、短時間で完売しました。

社会福祉法人
盛岡市民福祉バンク
常務理事兼事務局長
佐藤 敏昭様



出店による地域経済の活性化

新しいモールのオープンには地域に数千人単位の安定した雇用を創出し、税収や人口の増加にもつながります。専門店も全体の約3分の1は地域からの出店になるよう配慮するほか、多くの仕事が地元企業に発注されるなど、広範囲に効果を及ぼします。

公的サービスの拡充

イオンモールは、地域の皆さまに高い利便性を提供するために、郵便局、医療機関、自治体の行政サービス機関、銀行、外貨両替機などのサービスを導入するほか、モール内に設けられた多目的ホール(イオンホール)を成人式や確定申告の会場、選挙の投票所などにご活用いただいています。



地域の美しい環境を未来へ

「クリーン&グリーン」活動の一環として、毎月イオン・デーには、専門店従業員の皆さまとともに、モール周辺の歩道や公園、植樹帯などの清掃活動を行っています。



2015年度募金結果(全国のイオンモール合計)

■東北復興応援 空の駅 建設支援基金(2015年3月1日～2015年3月29日)	2,372,111円
■ネパール地震 緊急復興支援募金(2015年4月28日～2015年5月10日)	5,952,465円
■ミャンマー学校建設支援募金(2015年4月4日～2015年6月7日)	6,548,762円
■24時間テレビ チャリティー募金(2015年6月10日～2015年8月30日)	30,555,301円
■関東・東北地区集中豪雨被害 緊急支援募金(2015年9月11日～2015年9月30日)	7,931,026円
■イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン募金(2015年10月1日～2015年11月15日)	3,426,277円
■障がい者ものづくり応援募金(2016年2月10日～2016年3月13日)	3,876,003円
合計	60,661,945円

各モールの地域貢献事例

●まつり祭り

イオンモール太田(群馬県)

モールの駐車場を会場として、近隣のお祭り団体やお子さまの太鼓グループなど、各地の祭りを一堂に集めたお祭りを開催。世代・性別・国籍を問わず約2,000名の地域の方々が参加し、祭りの最後には八木節を会場全体で踊り、交流を深めていただきました。



●親子で学ぶ自転車教室

イオンモール浦和美園(埼玉県)

自転車の乗り方や交通ルールとマナーについて親子で学ぶ教室をモールの駐車場を利用して開催。店舗入口では埼玉県警察が交通安全に関する案内と粗品をお客さまに配布するなど、交通安全運動をあわせて実施しました。

(イオンバイク×ホンダ共催/後援：さいたま市)



●芸術祭 WAKAYAMA SALONE～竹燈夜～

イオンモール和歌山(和歌山県)

芸術祭のフィナーレとして、和歌山城および周辺で実施されている秋の風物詩「竹燈夜」を開催。竹で作った約8,000本の灯籠を並べ、キャンドルの柔らかな光が織りなす幻想的な光景がモールの水の広場を彩りました。

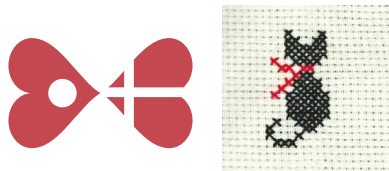


地域とともに パートナーとの協力 社員の職場環境 モールの安全管理 環境への配慮 継続的な地域社会への貢献

継続する被災地支援(宮城県東松島市)

◆「東松島ステッチガールズ」プロジェクト

2013年にタレントの岡田美里さんの呼びかけではじまり、一般社団法人 東松島みらいとし機構が運営する「東松島ステッチガールズプロジェクト」。デンマークの伝統的なクロスステッチ刺繍によって、地域の女性のための新たな産業を興し活躍の機会を創出する取り組みです。2014年6月に復興庁から「新しい東北」先導モデル事業に選出され、現在では73名の女性がステッチガールズとして活動に参加しています。当社では、震災後に取り組んできた東松島市への支援を継続すべく、首都圏のモールでワークショップや展示販売会を実施するなど、同プロジェクトの活動を広くお客さまにご紹介しています。



◆クロスステッチで東松島に新たな産業を



当初は事業化までは考えず、地域の皆さんが元気になれると思ってスタートしたプロジェクトでした。岡田美里さんや刺繍糸メーカーのDMCさんの協力を得て、おたがい技術教え合い、手が空いている人が小さなお子さんを見てあげるなど助け合いながら少しずつ活動の輪を広げ、販路の拡大や企業さんとのタイアップも進めてきました。現在では73名のメンバーのうち29名が指導者の資格「刺繍メンター」を有しています。

産業を興しただけでなく、子育て世代の女性が社会で活躍できる機会を創出したことに高い評価をいただいています。そしてこのたび、事業活動および情報発信の拠点として「DMCショップ東松島店 ステッチガールズカフェ」がオープンしました。ステッチガールズのメンバーが制作だけでなく事業全体に主体的に関わるようになり、いずれは「刺繍と言えば東松島」と呼ばれる産業に育てられたらと考えています。

一般社団法人
東松島みらいとし機構
芳賀 朋子様
福嶋 正義様



●東松島ステッチガールズのみなさん

クロスステッチは以前から好きでした。自分が作ったものが商品として誰かの手に渡っていると思うとうれしいですね。カフェの担当になって、手芸屋さんになるという子どもの頃の夢までかなえることができました。

去年から参加して、先輩から教わりながら腕を磨いています。自分で使うものではなく仕事ですから品質や納期に対する責任も感じますが、みなさんの雰囲気がとても明るく、楽しく活動できています。

家族のいない昼間に制作をしていますが、カフェに来るといつも誰かがいて、仕事以外の話もできて楽しいですね。東京に出張するメンバーがいるなど、いつのまにか活動の規模が広がったことに驚いています。

皆川 由佳様



鈴木 良子様



奥田 一美様



◆新たな交流拠点の創造をめざして

東松島・小野駅前応急仮設住宅でお母さんたちがつくるソックモンキー「おのくん」、また復興に向けた活動を継続・発展するための拠点「空の駅」の建設に、全国のイオンモールから大きなご支援をいただいています。いつもありがとうございます。「おのくん」を通じてたくさんのご縁を作ってきた仮設住宅では、すべての住民の新たな住居区画が決定し、転居に向けた準備を進めているところです。2015年5月30日にはJR仙石線運行再開に合わせて小野駅前に「空の駅」の看板を掲げたプレハブを建設し、仮設住宅と合わせて年間約2万人の方にお越しいただいています。いずれは、東松島の農

作物や海産物を味わっていただけるような「空の駅」を建設し、訪れる方と住む方の交流をさらに深めていきたいと考えています。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

小野駅前郷プロジェクト
共同代表
武田 文子様
新城 隼様



ボランティア活動に参加して

東日本大震災の復旧・復興をめざすイオングループの「心をつなぐプロジェクト」では、2015年度に10回にわたってのべ566名のボランティアを福島県南相馬市などへ派遣。また、2015年9月の豪雨で堤防が決壊し被害に見舞われた茨城県常総市にもボランティアを派遣しました。



以前からグループのボランティア活動に関心はあり、本社への異動を機に参加しました。常総市では床上浸水した家の床をめくってニス塗る作業をしました。深刻な被害を目の当たりにして、私たちはいざというときにお客さまの安全をどう守るべきか、あらためて考えさせられました。

管理本部 総務部
マネージャー
中川 博幸



福島へ行くと小中学生の娘たちに心配されましたが、作業する場所の線量が掲示され、安心して参加できる環境でした。バスから見た帰還困難区域の光景は凄まじく、普通の生活がいかに幸せか実感しました。一歩踏み出す勇気をもって参加してよかったと思います。

開発本部
建設企画統括部
企画開発部
清水 真理



被災から約2ヶ月経つ常総市を訪れましたが、仕事を終えてからの復旧作業が毎日続く家主のご主人はひどくお疲れでした。何かできるのかとためらうのではなく、参加してできることをやればよいと感じました。他の社会貢献活動も、できることはどんどんやろうと思うようになりました。

管理本部 経営企画部
CSR推進グループ
細谷 美紀



震災当時はオランダ在住で、現地にてボランティア活動を行いました。今回初めて被災地を訪問し実際に南相馬のお宅で作業することで、原発事故の深刻さを実感しました。現地の方をお願いされた通り、自分で見たことを数多くの人に伝えていこうと思います。

管理本部
総務部
那須 奈々絵



初めて会う現地の方に信用していただけるか少し心配でしたが、私が身につけていたビブスを見て「イオンの方が来てくれたんですね!」と安心していただけました。会社への社会的な信頼を感じ、その信頼をさらに高めていくことができるよう取り組みたいと思いました。

管理本部
人事統括部
教育部
長谷川 睦美



個人で参加するきっかけを見つけられず、会社での募集にありがたく参加しました。震災当時から放置されたビニールハウスや畑を片付けたのですが、体力的にはきつかったですね。帰ってから所属部署で報告をしたところ、上司や同僚が熱心に耳を傾けてくれました。

開発本部
建設企画統括部
企画開発部
金子 美和



健全で良好なパートナーシップの推進

私たちはこれからもパートナーと一緒に、普遍的倫理に基づき、さまざまな国の商習慣に配慮しつつ健全で一層強固な協力関係を築きます。

地域とともに

パートナーとの協力

社員の職場環境

モールの安全管理

環境への配慮

専門店、協力会社とのパートナーシップ

それぞれのイオンモールには数百にのぼる専門店に出店していただいております。安全で快適なモール環境は警備・清掃・施設管理などを業務委託する協力会社なしには実現できません。私たちはすべてのパートナー企業さまと公正な取引を行うとともに、密接なコミュニケーションで信頼関係を築くことをめざします。

いつでも相談できる安心感があります



株式会社スクランブルエッグは富山市に本社を置くアパレル企業で、地元のお客さまに支えられて北陸地方を中心に商業施設内に店舗を展開しています。イオンモールとなみに出店した「オッズオンコンプレックス」は、呉西と呼ばれる富山県西部では初めての拠点です。オープン前の研修で3世代でのご来店が多いと聞いていたのですが、実際にシニアの方がお孫さんを連れ歩く姿もよくお見かけします。地域のことをよくご存知だと思いました。モールの営業マネージャーからはレポートもいただきますし、

地元の学校の行事や休日などの情報も入ってきますので参考にしています。イオンモールさんのスタッフは頻りに館内を巡回していますので、何かあったときにすぐ相談できる安心感がありますね。店長会も単なる情報共有で終わらず、今すべきことを前向きに話してくださるので、当店でもこれをやろうというアイデアが浮かぶきっかけになります。スタッフにとってもイオンモールは働きやすい環境が整っています。これからも呉西でファンのお客さまを増やしていきたいですね。

イオンモールとなみ「オッズオンコンプレックス」店長（株式会社スクランブルエッグ）辻 佳代子様



警備でも、お客さまひとりひとりを大切に



11年半にわたってイオンモール高岡の施設警備に携わり、現在は20名のスタッフを統括する責任者を務めています。もちろん防犯カメラも多数活用していますが、広い館内には死角や物陰も存在します。テロなどの可能性も想定し、不審物などにも注意を払って巡回を行っています。防災センターとモール事務所は直結していますので、つねにイオンモールさんのスタッフとコミュニケーションを取り、情報交換しています。たとえば週末のイベントなどは内容を把握していないと適切な警備ができませんし、何か変更があれば

ば臨機応変な対処が要求されます。

先日は携帯電話を片手にATMを操作しているお年寄りがいるとの通報をいただき、すんでのところで振り込め詐欺の被害を防ぐことができました。地元の言葉で話しかけますので、安心して聞いていただけたのかもしれない。館内で迷子のお子さんを保護して、お母さまから涙ながらに感謝の言葉をいただいたりすると、もっとがんばろうという気持ちになります。みなさまの安全・安心を守るために、これからも努力してまいります。

イオンモール高岡セコムジャスティック北陸株式会社 越後 修一様



従業員の快適な職場環境のために

各モールでは専門店の従業員の皆さまが気持ちよく働けるよう、快適な職場環境の提供に努めています。十分な広さの休憩スペースを設けるほか、従業員専用のコンビニエンスストアやパウダールームを設置するモールも順次増やしています。



休憩スペース



従業員用コンビニエンスストア

コンテストを通じた教育事業

ロールプレイングコンテスト

2015年11月5日、第5回イオン同友店ロールプレイングコンテスト全国大会が東京ドームシティホールで開催されました。全国約28,000店の同友店会を代表する従業員が接客技術を競う、国内最大規模のコンテストです。



受賞者一覧（敬称略）

最優秀賞		福士 拓也	【ライトオン】	イオン帯広店
物販部門	第1位	井上 晃典	【ザ・ボディショップ】	イオンモール各務原
	第2位	品川 美由紀	【212 KITCHEN STORE】	イオンモール京都桂川
食品・飲食・サービス部門	第1位	笠嶋 亜貴子	【ソフトバンク】	イオンモールつがる柏
	第2位	八代 美津記	【がってん寿司】	イオンモール日の出
審査員特別賞		鈴木 知恵子	【THE SHOP TK】	イオンモール木更津
		鳥羽 史織	【ローリーズファーム】	イオンモール高岡



敢闘賞（エントリー No.順）

小山 佳恵【ZELE】イオンタウン名西／渡辺 明子【JTB中国四国】イオンモール新居浜／今井 美奈子【QBハウス】イオンモール姫路リバーシティ／大口 昌【わくわく広場】神戸ハーバーランドumie／渡口 ひな子【ドコモショップ】イオンモール沖縄ライカム／横田 望【柳月】イオンモール釧路昭和／小菅 聖子【茶寮kikusui】イオンモールつくば／鎌田 英嗣【BOOGIE-WOOGIE】イオンモール伊丹昆陽／春山 優喜【THE SHOP TK】イオンモール宮崎／田村 香奈子【トイザらス・ベビーザラス】イオンモール新居浜／高橋 倫子【index】イオンモール大高／森口 麻未【UNITED ARROWS green label relaxing】イオンモールKYOTO／栗原 美希【e.r.g*】イオンモール高崎／五十嵐 玲【E hyphen world gallery pd】イオンモール川口前川／小島 あかね【Samantha Vega】イオンレイクタウンkaze／鈴木 祥【Picasso Duo】イオンモール宮崎／星野 利香【EGAMI】イオンモール三川／高須 麻深【LUSH】イオンモール宮崎／鈴木 真鈴【studio.s】イオンモール東久留米／近 美優希【STONE WORLD】イオン新潟青山店／二階堂 千春【E hyphen world gallery】イオンモール名取／高野 恵【プロポジションボディドレッシング】イオンモール倉敷／中村 優紀【M.deux】イオンモール東浦



VPコンテスト

より魅力ある売り場づくりを実践するためにVP（ビジュアル・プレゼンテーション）コンテストを行っています。POP部門、ディスプレイ部門に分けて、全国の同友店会加入店舗より写真を応募票に貼り付けて提出いただいています。VPのエキスパートによる審査を経て決定した受賞店舗は講評や解説を加えて機関誌「DO YOU!」やイオン同友店会Webサイトで共有し、各店の売り場づくりに役立てています。



2015年度 POP部門 大賞
イオン福島店
ロマンダーロール



2015年度 ディスプレイ部門 大賞
イオンモール広島府中
コムサイズム



すべての人が生き生きと働く職場の実現

私たちは人権を尊重し、性別や国籍に関わりなく企業の発展に参画できる組織、またすべての従業員の能力が最大限に発揮できる職場を実現します。



イオンゆめみらい保育園（イオンモール幕張新都心）

◆ 多様な人材が活躍できる企業へ

出店数の拡大などにより、過去数年にわたって当社の従業員は大幅に増加しています。国籍・性別を問わず、さまざまな背景を持った人材が共通の価値観のもとで働くことができる環境を今後もいっそう整備してまいります。

● 社員データ（2016年2月末現在）

	2014年度	2015年度
社員数 (うち臨時雇用)	3,334名 (1,310名)	3,683名 (1,370名)
新入社員数 (男性/女性)	82名 (34名/48名)	84名 (36名/48名)
育児休暇取得者数 (うち男性)	18名 (1名)	19名 (1名)

● 女性管理職数（2016年2月末現在：単体）

	2014年度	2015年度
従業員数 うち女性	1,102名 342名(31.0%)	1,782名 479名(26.9%)
管理職 うち女性管理職	708名 68名(9.6%)	884名 115名(13.0%)
役員 うち女性役員	16名 2名(12.5%)	15名 2名(13.3%)

◆ 人材のグローバル化に向けて

海外で展開するショッピングモールについては、現地の人材が責任者となって、各国の言語や慣習に基づいて当社の理念を地域に根づかせることを方針としています。中国およびアセアンに設立された現地法人やモールでは約760名のローカルスタッフがイオングループの一員として活躍しており、日本国内のモールで短期研修を行うなど人的交流も行われています。

Pick Up 「子ども参観日」の実施

千葉県教育委員会では、子どもたちが勤労観、職業観を身に付け、社会で自立し、仕事を通じて社会に貢献できるように成長することを目的として、企業などに「子ども参観日」の実施を呼びかけています。当社でも、職場見学、社員食堂での昼食、名刺作成・交換、お仕事体験などのプログラムを実施しています。



◆ LGBTに関する研修を実施

イオングループが毎年実施している「イオン行動規範研修」の中で、2015年度よりLGBT（性的マイノリティ）に関するプログラムを新たに開始しました。従業員が研修を受講することでLGBTへの理解を深め、職場のあり方について議論しました。イオン行動規範研修を通して、すべての従業員が生き生きと働き続けられる職場づくりに取り組んでいます。

◆ 子育て支援

社員が仕事と家庭での役割を両立できるよう、当社ではさまざまな取り組みを進めています。子育て支援については、次世代育成支援対策推進法に基づいた行動計画を策定し、厚生労働省より子育てサポート次世代認定マーク「くるみん」を取得しています。

妊娠から子育てまで、必要な知識や手続きを独自のガイドブックにまとめ、申請書類も分かりやすく統一。これらの取り組みにより、千葉県労働局から次世代育成の認定事業主に認定されました。



◆ 「イオンゆめみらい保育園」の展開

当社が全国に運営するモールのうち、約60拠点に保育関連の専門店が出店していますが、その中で

- ①イオングループ従業員が利用できる枠がある
- ②モールの営業時間に合わせて原則無休で開園する
- ③0歳から就学前の子どもが預けられる
- ④認可を受けている、もしくは認可基準で運営している

—以上の条件を満たす施設を「イオンゆめみらい保育園」として、現在ではイオンモール幕張新都心、イオンモール沖縄ライカム、イオンモール常滑、イオンレイクタウンの4モールで運営しています。幕張新都心の園はイオングループの直営で、その他は事業者様と出店契約を結んでいます。採光、園庭の確保、自園調理など、認可レベルの条件を満たす保育園をモール内に作るにはさまざまな工夫が必要ですが、小売業で働く方のライフスタイルに合わせた保育園として「安心して預けられる」という声を多くいただいています。

イオンモール常滑では、館内に保育園があることで小さなお子さんのいる就職希望者からのご応募を多数いただき、オープニングスタッフ採用にも役に立ったと聞いています。また認可を取得した事業所内保育所においては定員の2割以上を地域の皆さまに開放しており、いわゆる待機児童の解消にも貢献しています。



リーシング本部
新業態開発部 第二グループ
マネージャー
河内 絵美奈



◆ イオンモール労働組合より

506名でスタートした当組合も、第9期を迎えて2,402名（2016年3月16日現在）にまで拡大しました。「人と人がつながり働きがいのある職場環境をつくる」という継続した取り組みに加え、今期は10周年を見据えて「Future（未来）」というテーマを掲げています。組織が拡大する中でややもすると職場のコミュニケーションが不足しがちですが、病気や介護でやむなく職場を離れる可能性は誰にでもあり、

そんなときに周囲がカバーして支え合っていける信頼関係を醸成したいですね。そして正当な理由がある限り「働き続ける」という選択肢がいつねに存在する会社にしていきたいと考えています。

イオンモール労働組合
中央執行委員長
石山 修



● 「グローバル枠組み協定」の締結について

イオン（株）、UNIグローバルユニオン、UAゼンセン、イオングループ労働組合連合会の4者は2014年11月に「グローバル枠組み協定」を締結しました。企業と労働組合がおたがいをパートナーとして認識し、職場における基本的人権などの権利の尊重、地球環境に及ぼす影響への対応に関する認識を共有し、その実施に向けて努力する

ことを目的とするもので、国内では3例目となります。協定内容には、就業の最低年齢や、職業上の安全・健康・作業環境に関する条約などを取り上げたILO（国際労働機関）中核的8条約の尊重が含まれます。国内外を問わず、4者の協力によって労働、人権、環境に関する取り組みを推進していきます。



不断の安全追求から生まれる安心の獲得

私たちは関わりのあるすべての人たちに対して、さまざまな安全を提供し、どんなときも安心の評価をいただけるまちづくりを推進します。

地域とともに

パートナーとの協力

社員の職場環境

モールの安全管理

環境への配慮



館内に設けられた公安所（イオンモール武漢經開）

◆ 防災協定の締結

国内のモールの大半が、防災活動への協力などに関する協定書を地方行政と締結しています。2015年10月にオープンしたイオンモール四條畷では、四條畷市および寝屋川市と当社で地域防災協定を、またイオンリテール(株)と両市が災害時における支援協力に関する協定を締結。非常時にモールが地域の防災拠点として機能するための体制を整えています。



イオンリテール(株)と両市が災害時における支援協力に関する協定を締結。非常時にモールが地域の防災拠点として機能するための体制を整えています。

◆ 防災訓練

万一の災害時にお客さまの安全を確保するために、専門店のスタッフも参加して避難誘導や消火活動などの訓練を定期的に行っています。モールによっては飲料水、簡易トイレ、緊急避難用の大型 TENT「バルーンシェルター」などを備えるほか、一部のモールでは津波やテロを想定した訓練も実施しています。



イオンモールBSD CITY (インドネシア)

◆ 食品衛生管理

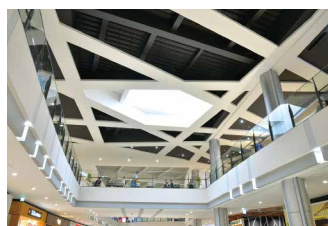
すべてのお客さまに安心してお食事をお楽しみいただくために、当社は食品衛生管理を最重要項目のひとつに位置づけています。食品の取り扱いや日付・温度管理、作業場内の衛生管理、従業員の健康管理など、多岐にわたって独自の厳しいルールを定めているほか、すべての飲食店を対象として定期的に食品衛生調査を実施しています。



飲食店従業員用のトイレ。手を消毒しないと扉が開かないようになっているモールもあります。

◆ 耐震性能の強化

東日本大震災後にオープンしたモールでは、天井の主要箇所において耐震性能をより高めた工法を採用し、メイン通路の天井を膜天井やスケルトン化しています。受水槽も東日本大震災と同規模の地震を想定した耐震性・耐久性を備えています。



◆ 被災時の復興拠点としての機能確保

モールによっては大規模な停電が発生した際にガスインフラを利用した自家発電設備を稼働し、セキュリティシステムや主要な管理諸室へ電源供給を行います。また受水槽に非常用の仮設給水口を取り付けたモールでは、断水・停電時にも飲料水を供給することが可能です。



◆ 反社会的勢力の排除に向けて

2015年11月16日、当社およびイオンモール沖縄ライカムは、「第24回暴力団追放沖縄県民大会・暴力団壊滅那覇市民総決起大会」において、公益財団法人暴力団追放沖縄県民会議名誉会長(沖縄県知事)より表彰状を授与されました。これは当モールの出店契約に反社会的勢力の排除条項を定めるなど、暴力団排除活動に積極的に協力したことが評価されたものです。



◆ 天津市・滨海新区の爆発事故についてのご報告

2015年8月12日に中国・天津市の滨海新区で発生した爆発事故では、現場から約2kmに位置する「イオンモール天津TEDA」も被害を受けました。各方面からご心配の声をお寄せいただいたことに、あらためて感謝を申し上げます。

事故が起きたのは8月12日の23時頃です。管理責任者からの電話でモールに駆けつけると、爆風でガラスはすべて砕け落ち、鉄の扉が折れ曲がり、この場で爆発が起きたかと思うほどでした。夜通し従業員の安否確認を行い、盗難の被害を防ぐための目張りを施しました。8月15日には吉田社長が現場に入りましたが、その頃にはモールのある地区も危険だという情報が錯綜し、警察・消防からも明確な情報が得られず、一時撤収を決断しました。実際に立入禁止区域に指定されたのはその直後です。もう再開は難しいという声もありましたが、こんなときこそ地域の復興に全力を尽くすのが使命だという想いがありました。ようやく制限が解除され、復旧作業を再開できたのは9月1日のことでした。東日本大震災での経験もふまえ、従業員には安全・便利さ・見た目の優先順位を守るよう徹底しました。まず消防設備の復旧を再優先し、安全を確保できたら多少不便でも

オープンする。見栄えは最後です。そのうえで、これを機に老朽化していた箇所も一新し、新しいモールとして生まれ変わろうと呼びかけました。オーナー企業や政府の協力もいただいて復旧は急ピッチで進み、9月20日から10月にかけて総合スーパーのイオンを段階的にオープン。事故から81日後の11月1日に全館営業再開となり、従業員がすみずみまで磨いた明るい館内にお客さまの笑顔が戻りました。今回のような事故は事前に想定できませんが、初動が的確だったことが功を奏しました。お世話になっている地域の皆さまに、いま自分たちで何ができるか。そんな意識があれば、すべきことはそれぞれに見えてくると思います。

イオンモール(中国) 商業管理有限公司 董事総経理 中根 健



◆ ユニバーサルデザイン

あらゆるお客さまに安心して快適にお過ごしいただけるよう、当社は2005年から本格的なユニバーサルデザインを導入してきました。また導入後も定期的にアンケートを行うなどしてお客さまからのご意見を伺い、ハード・ソフトの両面から継続的な改善に取り組んでいます。



どこからでも話しかけやすいインフォメーションカウンター。タッチパネル式の館内案内やデジタルサイネージも順次導入しています。



館内には車椅子やベビーカーを配備しています。また、介助が必要なお客さまのために、モール中央入口にインターフォンを設置しています。



広く多機能な「優先トイレ」、お子さま専用設計された「キッズトイレ」、オストメイト対応トイレなどが揃っています。



お体の不自由な方専用の駐車スペースを確保。事前登録制とすることで、必要とされる方が確実に利用できる環境を整えています。



地域から地球へ、環境保全の推進

私たちは環境負荷を最小限に抑える最新の技術を導入し、地域の生態系を守る仕組みをつくり、省エネや廃棄物管理の徹底をすることで、自然と調和したまちづくりを推進します。



イオンモール常滑

環境トピック2016

◆ GRESB調査において「グリーンスター」評価を取得

欧州の年金基金グループを中心に創設したグローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク(GRESB)は、不動産会社・運用機関のサステナビリティ配慮を測る国際的なベンチマークです。当社は2015年にアジア地域で16位(92社中)、世界全体で126位(688社中)となり、環境方針の策定・開示および実行・計測双方において優れた取り組みを行っている企業として、最高位となる「グリーンスター」評価を取得しました。



◆ 「おおさかストップ温暖化賞」優秀賞を受賞

「おおさかストップ温暖化賞」は、大阪府環境農林水産部が主催し、地球温暖化防止対策およびヒートアイランド現象の緩和対策ならびに電気の需要の平準



化対策の普及促進を目的に、すぐれた取り組みを実施した事業者などを表彰するものです。府下の当社直営5モールにおいてLED照明の導入などにより温室効果ガス排出を12.7%削減し、「温暖化対策部門」優秀賞を受賞しました。

◆ 国内初「下水再生水高度複合利用システム」の運用をスタート

2016年3月、堺市・関西電力グループ・当社は、イオンモール堺鉄砲町(大阪府)で下水再生水およびその際に発せられる熱エネルギーを複合活用する日本初の取り組みを開始しました。下水再生水を施設内の給湯や空調の熱源として活用するとともに、熱源として利用した下水再生水を施設内外の「せせらぎ水路」やトイレ洗浄水の水源として活用しています。



◆ 全モールの一斉ライトダウンを実施

当社は環境省が提唱する「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に2003年より参加しています。

2015年6月22日および7月7日の2回にわたって、全国140のモールで一斉に20時から店舗屋外や周辺の照明を消灯しました。1回のライトダウンで削減できる電力は約387,000kWh(一般家庭約27,400世帯*が1日で使用する電力量相当)に達します。

※一世帯あたり14.12kWhで換算



◆ 新店3モールが「いきもの共生事業所®」認証を取得

2015年10月以降にオープンしたイオンモール四條畷、イオンモール常滑、イオンモール堺鉄砲町の3モールは、いずれも「いきもの共生事業所®」認証を取得しました。この認証は、「一般社団法人 企業と生物多様性イニシアチブ

(JBIB)」が作成・登録した「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」に基づき、生物多様性に配慮した緑地づくりなどの取り組みを「いきもの共生事業推進協議会」が第三者的に評価・認証するものです。イオンモール東員(2013年)、イオンモール多摩平の森(2014年)に続き、合計5モールが認証を取得しています。



イオンモール常滑の敷地に広がる森「きゅりお」では、25の巣箱を設置して知多半島に生息する野鳥を呼び込んでいます。

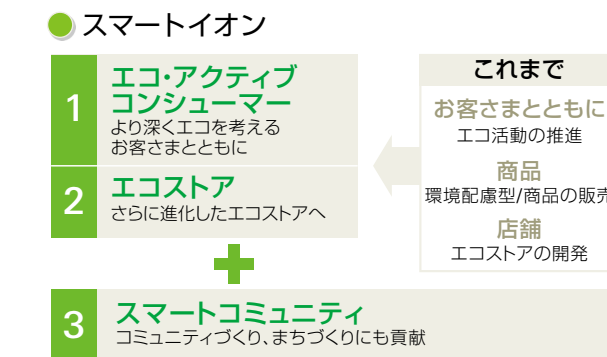
◆ EV(電気自動車)充電器の設置拡大

2008年にイオンレイクタウンに設置して以来、当社は地球環境の保全、持続可能な社会の実現をめざし、CO₂を排出しない電気自動車やプラグインハイブリッド車の普及を推進するため、各モールにEV(電気自動車)充電器の設置を進めてきました。イオングループの他の商業施設と合わせて2016年4月1日現在で193拠点のEV充電ステーション網を構築するとともに、社会インフラとして安定的なサービスを提供するため、電子マネー「WAON」などを利用した有料化への仕組みづくりを進めています。



◆ スマートイオンの展開

スマートイオンとはエネルギーの効率化や防災などにまちぐるみで対応する次世代型エコストアを指し、環境目標「イオンのエコプロジェクト」が定める基準を満たす持続可能なまちづくりです。当社が運営するモールでは、2016年3月オープン



◆ 公共交通機関の利用促進

イオンモールでは、電車や路線バスなど公共交通機関でご来店いただける環境を整えています。特に駅から徒歩圏内のモールでは、鉄道会社や交通局と連携して電車でご来店されたお客さまに特典を提供するなど、公共交通機関を利用しやすい環境づくりを進めています。

◆ 自然の力を利用した取り組み

● 太陽光発電

イオンモールでは他の商業施設に先駆けて太陽光発電システムを順次導入し、館内の使用電力の一部をまかなっています。一部のモールでは、災害などによる停電時にも太陽光パネルで発電した電力を活用できるシステムを採用しています。



● 風力の活用

一部のモールには、風力発電と太陽光発電によるクリーンエネルギーのハイブリッド太陽灯を設置しています。夜間や日照時間の短い冬季でも安定した充電を確保し、災害時でも自然エネルギーのみで終夜点灯が可能です。



● 壁面緑化/植栽

モール壁面の緑化は景観を向上するだけでなく、建物の断熱性を高めることで夏季の館内における温度上昇を抑制し、冷房で使用するエネルギーの削減につながります。また、各モールの周辺には随所に緑豊かな植栽を施し、自然との調和を図るとともに、うるおいのある憩いの空間を演出しています。



◆ イオン ふるさとの森づくり

1991年にマレーシアでスタートした「イオン ふるさとの森づくり」。新しいモールがオープンする際には、地域の自然環境に最も適した、その土地に自生する樹木をお客さまとともに植えています。2016年2月末現在、累計植樹本数は約1,120万本(グループ合計)に達しています。



地域から地球へ、環境保全の推進

◆ 水質保全

排水基準を順守するためにすべての飲食店で毎日の厨房グリストラップ清掃を義務づけ、油やごみの流出防止に努めています。そのうえで、店内の厨房から油が流出する事故が発生した場合に外部への拡散を防止するための訓練を定期的実施しています。また、一部のモールでは排水を浄化するためにバクテリア分解を利用しています。培養液によりバクテリアを増殖させ、そのバクテリアが体内にリンや窒素を取り込むことによって、油分などを分解して水質を浄化します。



グリストラップ清掃



流出を防止する専用の油吸収剤を常備

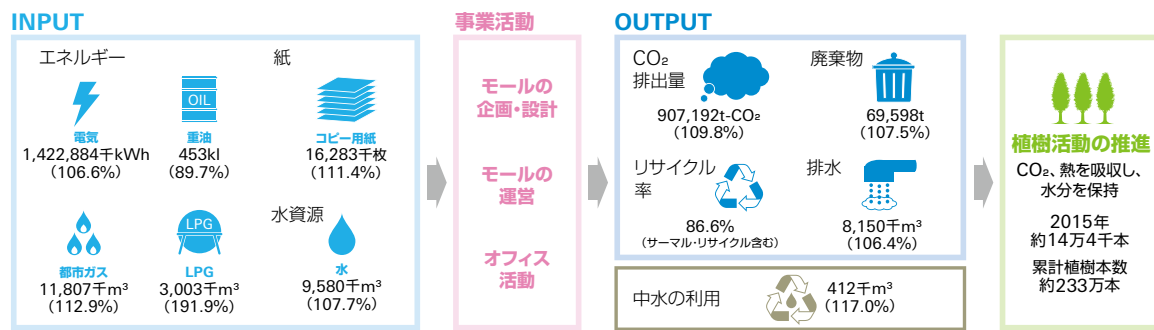


ごみ庫に設けられた防油堤

◆ 節電対応

各モールでは四半期ごとに電力使用量の目標値を定めており、お客さまの安全や快適さに影響を及ぼさない範囲で日常的な節電に努めています。具体的には、社内の照度基準を確保したうえでの照明の間引き、お客さまの少ない時間帯における駐車場の一部エリア閉鎖や一部エレベーターの運転停止、エスカレーターの人感センサー導入、きめ細かい館内の空調管理などが挙げられます。

● 2015年度インプット/アウトプット (国内70モール)



※対象は共有部分、イオン、テナントも含むモール全体。ただし廃棄物およびリサイクル率はテナントとイオンモール事務所が対象、コピー用紙はイオンモール事務所のみが対象となります。 ※（ ）内は対前年比

◆ 省エネルギーの取り組み

● LED照明

各モールの館内照明については、従来の蛍光灯や白熱電球から、より省電力かつ長寿命なLEDへの切り替えを進めています。近年にオープンしたモールでは共用部のLED採用率100%を達成。専門店にも新規モールオープン時や既存店リニューアル時にLEDの採用を呼びかけており、光の色や明るさが選べるようになってきたこともあって着実に切り替えが進んでいます。また、屋外の電飾サインにも消費電力の少ないLED光源ユニットを採用しています。



● 氷蓄熱システム

氷蓄熱システムは、最も電力消費の激しい夏季の昼間に使用する電力を抑制し、1日を通した消費電力を平準化します。電力負荷の少ない夜間の電気を利用して蓄熱槽に氷を蓄え、その熱エネルギーを営業時間の冷房に活用しています。



● 空調冷水カスケードシステム

当社が開発した「空調冷水カスケードシステム」は、複数の空調機をカスケード(連なった)配置とし、夏季の冷水搬送動力の低減ときめ細かな空調負荷対応を実現しました。冬季は館内の人体発熱や照明発熱を冷水で熱吸収させ、外気を温めて送風に利用。一般的なシステムと比較して約50%のエネルギー削減を可能にし、CO₂排出量削減に貢献します。

◆ 廃棄物削減とリサイクル

モールから出る廃棄物の削減では、専門店に協力をいただいて、「何を、どこで、どれだけ廃棄しているか」を明らかにし、課題として意識づけることが重要です。各モールでは、廃棄物を基本17品目分別したうえで品目ごとに計量するシステムを導入しています。

専門店は各品目を計量した後、計量済みのシールを貼り、品目ごとの保管場所にまとめて廃棄します。分別されたごみのうち、可能なものについては極力リサイクルに回し、各品目ごとにリサイクル率を集計しています。2015年度のリサイクル率は86.6%でした。



分類を分かりやすく記したごみ庫。空調を備えて悪臭や害虫の発生を抑えています。



廃棄物は品目別に集計して計量。どの専門店がどれだけの廃棄物を出しているかをデータで把握しています。

◆ 環境コミュニケーション

各モールの環境負荷低減は当社の従業員だけで進められるのではなく、専門店やお客さまのご理解・ご協力が必要です。専門店のスタッフには小冊子の配布やバックヤードの掲示物などご協力をお願いしています。また館内ではエコインフォメーションやエコベンチを通して各モールの環境に対する取り組みをご紹介しますとともに、エコバッグの持参やリサイクルへのご協力を呼びかけています。



エコインフォメーションでは太陽光発電システムの稼働状況などをご確認いただけます。



館内のごみ箱も4品目程度に分類。お客さまにも分別へのご協力をお願いしています。

● 2015年度の廃棄物排出総量とリサイクル率

		廃棄物排出総量	リサイクル率
1	生ごみ	15,234t	91.0%
2	段ボール	19,250t	100.0%
3	雑芥	19,758t	64.0%
4	廃プラスチック	3,035t	98.6%
5	ビン	422t	99.5%
6	缶	654t	100.0%
7	発泡スチロール	111t	100.0%
8	廃油	1,704t	100.0%
9	紙類	2,788t	100.0%
10	粗大ごみ	141t	80.8%
11	その他不燃ごみ	1,404t	79.5%
12	廃蛍光灯	30t	82.7%
13	廃電池	9t	79.1%
14	割り箸	115t	95.9%
15	廃アルカリ・剥離剤	35t	63.6%
16	汚泥	4,328t	89.4%
17	廃エンジンオイル	—	—
18	店頭回収:アルミ缶	79t	100.0%
19	店舗回収:食品トレイ	24t	100.0%
20	店舗回収:牛乳パック	110t	100.0%
21	店舗回収:ペットボトル	366t	100.0%
全社リサイクル率(サマール・リサイクル含む)			86.6%

◆ 資源回収・リサイクルの促進

一部のモールでは、ご家庭の古新聞や古雑誌をお持ちいただいたお客さまに重量に応じたリサイクルポイントを発行し、一定のポイントがたまるとうイオン商品券と交換するシステムを導入し、古紙のリサイクルを促進しています。回収はモールに設置した専用のボックスで行うため、お買い物のついでにいつでもお持ちいただける点でもご好評をいただいています。また、お客さまのご家庭からペットボトルを回収し、WAONポイントを付与する取り組みも一部のモールで実施しています。



ecomio(エコモ)による古紙リサイクルポイントシステム(協力:国際紙パルプ商事株式会社)



ご協力いただいたお客さまにはWAONポイントがたまる、ペットボトルの自動回収機



コーポレート・ガバナンスに対する取り組み

より一層の経営の透明性と効率性の向上、コンプライアンス、リスク管理の強化を推し進め、さらなるコーポレート・ガバナンス体制の充実を図っていきます。

● 基本的な考え方と経営体制

当社は、株主の皆さまやお客さまをはじめ、お取引先、地域社会、従業員などの各ステークホルダーに対する責任を果たしていくことが、長期安定的な企業価値の向上につながると考えています。その実現に向け、コーポレート・ガバナンス機能の強化と迅速な意思決定による競争力の向上に取り組んでいます。経営に関する重要な事項、方針および業務執行に関する重要事項を審議するとともに経営監督機能の強化のため、代表取締役社長を議長として取締役会を月1回以上開催し、社外監査役も出席しています。なお、取締役会には必要に応じて適宜臨時に開催するものとし、社長決裁以上の当社グループに重大なリスクの生じる恐れのある意思決定事項に関しては経営会議にて審議を行ったうえで、社長決裁ないし取締役会決議を行います。

● 監査・モニタリング体制

当社は内部監査部門として、社長直轄の部署である経営監査部を設置しています。経営監査部は、全社各部署に対し業務監査を実施しており、内部統制を確実に機能させるとともにその有効性検証の一翼を担っています。監査結果は都度社長に報告され、経営会議および監査役に対して定期報告を実施しています。取締役は、当社の業務または業績に影響を与える事項、法令違反その他コンプライアンス上の問題のうち、当社に著しい損害を及ぼす恐れのある事実があることを発見したときは監査役会に速やかに報告します。監査役4名のうち2名は一般株主と利益相反が生じる恐れのない独立役員とし、監査役からの取締役に対する業務の執行状況についての報告要請には他の事項に優先して迅速かつ誠実に対応します。

● リスク管理

災害・環境・コンプライアンスなどの事業リスクについては、全社レベルでのリスク管理機関として経営会議の下部機構としてのリスク管理委員会を設置して、当社全体のリスクの洗い出しを実施するとともに、リスク管理運営状況の把握、情報交換、リスク管理体制の継続的な見直しを図り、リスク管理の策定方針を起案します。この方針により「業務分掌規則」などで定められたそれぞれのリスク管理主管部門にて規則、取扱要領などの作成を行い、定期的に見直しを実施します。これらの周知については、社内の研修などにより教育を実施するとともに電子掲示板などで全従業員に徹底します。緊急かつ重大な損失の危険が発生した場合は、「経営危機管理規則」に基づき適切な情報伝達および意思決定を行い、被害を最小限に止めるなどの対応を行います。

● 反社会的勢力排除に向けた取り組み

コンプライアンス経営の徹底、企業防衛の観点から、反社会的勢力とはかかわりを持たず、不当な要求に対しては毅然とした態度で対応し、排除することが企業の社会的責任であることを認識しています。万一反社会的勢力による不当請求があった場合には、個人的対応は行わず、民事および刑事の法的対応を含め、外部専門家や捜査機関とも緊密な連携を構築し、組織的対応をするものとしています。また「公益財団法人千葉県暴力団追放県民会議」に加盟し、平素から警察、防犯協会などと緊密に連携して、反社会的勢力に関する情報収集に努め、社内啓蒙活動をしています。



イオンモール データ集

各ショッピングモールの2016年度データ(2016年2月現在)
※防災協定の欄はイオン株式会社が包括提携協定・相互協力連携協定を締結しているものも含みます。

北海道		開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	氷蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
1	イオンモール旭川駅前	2015年 3月	28,000	900	400	1,795	2015年 1月	3	18,117	6	—	—	普通2

東北		開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	氷蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
2	イオンモールつがる柏	1992年11月	40,000	2,600	72,000	779	2006年 8月	3	821	—	—	—	急速1 普通1
3	イオンモール下田	1995年 4月	59,000	4,000	50,000	1,381	2006年 7月	4	716	—	—	—	—
4	イオンモール盛岡	2003年 8月	46,000	2,800	26,020	1,885	2006年 8月	4	771	—	—	—	急速1 普通1
5	イオンモール盛岡南	2006年 9月	42,000	2,400	17,044	1,914	2006年 8月	3	951	—	—	—	急速1 普通1
6	イオンモール名取	2007年 2月	67,000	3,900	20,000	2,445	2007年 1月	4	1,066	27	○	○	普通2
7	イオンモール利府	2000年 4月	33,000	3,000	25,016	1,210	2006年 8月	2	37	21	—	—	急速1 普通1
8	イオンモール富谷	2003年 3月	27,000	1,400	8,592	1,080	2006年 6月	4	765	—	—	—	急速1 普通1
9	イオンモール石巻	2007年 3月	40,000	2,600	19,205	1,582	2006年11月	3	1,823	16	—	○	急速1 普通1
10	イオンモール秋田	1993年 9月	58,000	3,200	43,000	1,789	2006年 5月	6	8,570	—	—	—	急速1 普通1
11	イオンモール大曲	2008年10月	48,000	2,900	15,208	791	2008年10月	1	828	12	○	—	急速1 普通1
12	イオンモール天童	2014年 3月	47,000	3,000	15,000	1,625	2010年10月	4	589	17	—	—	急速2 普通2
13	イオンモール山形南	2000年11月	26,000	1,700	21,027	834	2010年10月	2	237	—	—	—	急速1 普通1
14	イオンモール三川	2001年 7月	40,000	3,300	27,662	750	2006年 7月	3	854	—	—	—	急速1 普通1

関東		開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	氷蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
15	イオンモール水戸内原	2005年11月	78,000	4,100	49,000	3,851	2006年 8月	4	1,632	11	○	○	普通3
16	イオンモールつくば	2013年 3月	64,000	4,000	15,000	3,239	2011年10月	6	510	15	—	○	急速1 普通2
17	イオンモール下妻	1997年11月	36,000	3,100	16,473	1,447	2006年 9月	2	—	14	—	○	急速1 普通1
18	イオンモール土浦	2009年 5月	58,000	3,300	20,000	2,041	2009年 6月	2	574	20	○	○	急速1 普通1
19	イオンモール小山	1997年 4月	30,000	1,900	19,493	1,040	2006年 7月	3	845	—	—	○	急速1 普通1
20	イオンモール佐野新都市	2003年 4月	32,000	2,300	11,827	1,257	2006年 7月	4	1,427	12	—	—	急速1 普通1
21	イオンモール太田	2003年12月	62,000	4,200	54,000	2,027	2006年 7月	5	1,084	14	—	—	普通3
22	イオンモール高崎	2006年10月	59,000	3,700	50,000	2,561	2007年11月	4	1,930	12	○	—	普通2
23	イオンモール川口	1984年 4月	34,000	1,300	250	975	2006年11月	5	—	—	—	—	—
24	イオンモール川口前川	2000年11月	66,000	2,400	20,000	2,754	2006年11月	4	394	—	○	—	—
25	イオンモール羽生	2007年11月	75,000	5,000	90,000	3,035	2007年10月	7	3,041	21	○	○	急速1 普通1
26	イオンレイクタウンkaze	2008年10月	61,000	2,300	28,000	3,546	2008年10月	5	—	32	○	○	急速1 普通1
27	イオンレイクタウンmori	2008年 9月	99,000	6,100	50,000	7,158	2006年 8月	6	30,153	20	—	○	急速2 普通1
28	イオンレイクタウンアウトレット	2011年 4月	23,000	1,100	1,000	948	2006年 8月	1	—	10	—	○	急速1 普通2
29	イオンモール春日部	2013年 3月	56,000	2,900	15,000	1,809	2006年 8月	6	1,251	17	○	—	普通3
30	イオンモール北戸田	2004年11月	44,000	2,600	12,627	2,553	2006年 7月	3	—	—	—	—	急速1 普通1
31	イオンモール与野	2004年12月	41,000	3,000	16,371	2,297	2006年 8月	3	220	6	○	—	急速1 普通1
32	イオンモール浦和美園	2006年 4月	62,000	3,000	25,641	2,838	2006年 8月	4	192	16	—	○	急速1 普通1
33	イオンモール富津	1993年 9月	28,000	1,400	32,000	809	2006年 8月	4	375	—	—	—	急速1 普通1
34	イオンモール成田	2000年 3月	65,000	4,000	46,000	2,426	2006年 8月	6	3,648	16	—	—	急速1 普通1
35	イオンモール千葉ニュータウン	2006年 4月	79,000	4,000	14,000	2,877	2007年 3月	6	2,254	—	—	—	急速1 普通2
36	イオンモール幕張新都心	2013年12月	128,000	7,300	50,000	3,650	2007年 1月	18	218	43	—	○	急速4 普通10
37	イオンモール木更津	2014年10月	84,000	4,000	61,570	2,516	2015年 6月	3	1,779	11	—	○	急速2 普通2
38	イオンモール津田沼	2003年 9月	27,000	1,300	1,549	1,984	2006年 7月	2	—	9	—	—	急速1 普通1
39	イオンモール八千代緑が丘	2005年 3月	42,000	2,500	11,535	2,220	2006年 7月	3	898	—	○	○	急速1 普通1
40	イオンモール柏	2006年 5月	30,000	2,000	7,896	1,549	2006年 8月	2	57	—	○	○	急速1 普通1
41	イオンモール銚子	2010年 3月	31,000	3,200	35,000	1,166	2010年 3月	2	1,210	11	○	○	急速1 普通1
42	イオンモール船橋	2012年 4月	36,000	2,300	17,346	2,369	2012年 3月	2	75	20	○	○	急速2 普通2
43	ゆみーる鎌取ショッピングセンター	1994年 3月	28,000	1,600	4,461	1,427	2007年 1月	3	—	—	—	—	—
44	イオンマリンピア専門館	2003年10月	11,000	300	—	260	2007年 1月	1	—	4	—	—	—
45	イオンモールむさし村山	2006年11月	78,000	4,800	45,000	4,210	2006年 9月	6	1,205	—	○	—	急速1 普通2
46	イオンモール日の出	2007年11月	64,000	3,600	58,000	3,144	2007年11月	4	1,316	16	○	○	急速1 普通1
47	イオンモール多摩平の森	2014年11月	24,000	1,000	600	1,748	2014年 9月	4	264	9	—	—	急速1 普通1
48	イオンモール東久留米	2013年 4月	31,000	1,700	20,000	1,898	2013年 4月	4	281	9	○	○	普通4
49	イオン板橋ショッピングセンター	2000年 5月	35,000	900	—	1,730	2007年 9月	1	274	—	—	○	急速1 普通1
50	イオンモール大和	2001年12月	35,000	1,900	20,000	684	2006年 4月	3	4,453	—	—	—	普通2
51	イオン海老名ショッピングセンター	1979年11月	32,000	1,500	—	1,081	1994年 4月	1	36	16	—	—	—

関東(つづき)		開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	氷蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
52	イオン相模原ショッピングセンター	1993年 8月	27,000	1,500	34,001	1,520	1992年 4月	3	0	—	—	—	急速1 普通1
53	イオン秦野ショッピングセンター	1995年11月	28,000	1,900	6,625	1,628	2006年 8月	3	2,762	—	—	○	急速1 普通1

中部		開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	氷蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
54	イオンモール新発田	2005年 4月	33,000	1,700	14,210	1,034	2006年 7月	3	128	10	—	—	急速1 普通2
55	イオンモール新潟南	2007年10月	51,000	4,000	30,396	2,304	2008年 7月	5	1,477	14	○	—	急速1 普通1
56	イオンモール高岡	2002年 9月	62,000	3,600	44,000	1,937	2007年12月	3	2,428	—	—	—	急速1 普通1
57	イオンモールとなみ	2015年 7月	33,000	1,750	7,000	1,091	2015年 6月	2	—	—	—	—	急速2 普通2
58	イオンモールかほく	2008年10月	62,000	3,300	29,391	1,530	2008年10月	2	129	12	—	○	急速1 普通1
59	イオン御経塚ショッピングセンター	1998年 3月	33,000	1,700	—	929	2012年 3月	3	—	—	—	—	急速1 普通1
60	イオンモール甲府昭和	2011年 3月	45,000	2,500	20,000	1,761	2011年 2月	5	805	17	○	—	普通3
61	イオンモール佐久平	1999年 4月	25,000	2,000	19,247	988	2011年 9月	2	590	23	—	—	急速1 普通1
62	イオンモール大垣	2007年 4月	43,000	2,500	29,253	1,391	2007年 3月	3	975	10	—	○	急速1 普通1
63	イオンモール各務原	2007年 7月	77,000	5,500	62,643	3,776	2007年 7月	2	322	20	—	○	急速1 普通1
64	イオンモール浜松志都呂	2004年 8月	65,000	3,500	38,000	1,944	2011年12月	5	531	58	—	○	急速1 普通1
65	イオンモール富士宮	2001年12月	40,000	2,500	24,231	1,667	2006年 9月	2	1,662	—	○	—	急速1 普通1
66	イオンモール浜松市野	2005年 6月	63,000	4,000	19,299	2,902	2006年 9月	3	748	⁶⁷ (フルーク16基)	—	○	急速1 普通1
67	イオンモール岡崎	2000年 9月	80,000	4,300	48,050	4,336	2007年 3月	9	1,020	42	—	—	普通3
68	イオンモール東浦	2001年 7月	55,000	5,000	25,000	2,195	2006年 7月	7	773	—	—	—	普通3
69	イオンモール木曽川	2004年 6月	66,000	4,400	15,000	2,430	2014年 9月	2	3,507	16	○	—	急速1 普通1
70	イオンモール新瑞橋	2010年 3月	38,000	1,600	5,000	1,890	2010年 2月	6	116	22	○	○	普通2
71	イオンモール名古屋茶屋	2014年 6月	75,000	4,100	18,956	2,364	2012年 1月	3	886	8	—	○	急速2 普通2
72	イオンモール常滑	2015年12月	82,800	4,200	12,000	2,159	2015年11月	3	385	20	—	○	急速2 普通2
73	イオンモール名古屋みなと	1999年11月	44,000	3,000	36,484	1,284	2006年10月	2	45	—	—	—	急速1 普通1
74	イオンモール熱田	2003年 7月	47,000	3,800	12,331	2,499	2006年 7月	3	594	—	—	—	急速1 普通1
75	イオンモール扶桑	2003年 8月	34,000	2,800	17,887	1,404	2006年 7月	1	396	31	—	○	急速1 普通1
76	イオンモールナゴヤドーム前	2006年 3月	48,000	2,800	12,736	3,339	2009年 5月	3	—	16	—	—	急速1 普通1
77	イオンモール大高	2008年 3月	65,000	4,000	25,000	3,608	2008年 2月	2	—	12	—	○	急速1 普通1
78	イオン春日井ショッピングセンター	1991年 4月	33,000	1,600	—	1,035	2009年 7月	1	154	20	—	—	急速1 普通1

近畿		開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	氷蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
79	イオンモール鈴鹿	1996年11月	70,000	4,200	36,000	2,479	2006年 8月	4	2,713	—	—	—	急速1 普通1
80	イオンモール東員	2013年11月	58,000	3,500	15,000	2,306	2013年10月	3	204	15	—	○	急速2 普通2
81	イオンモール四日市北	2001年 1月	42,000	3,000	38,478	1,349	2008年 8月	1	996	26	○	○	急速1 普通1
82	イオンモール明和	2001年 7月	34,000	3,100	39,467	1,021	2012年 3月	2	364	52	—	○	—
83	イオンモール桑名	1995年 3月	38,000	4,000	—	1,493	2004年 3月	2	—	—	—	—	—
84	イオン津ショッピングセンター	1978年 9月	34,000	1,200	141	821	2006年12月	2	48	11	—	—	—
85	イオンモール草津	2008年11月	78,000	4,500	20,000	3,395	2008年10月	5	1,790	18	○	○	急速2 普通1
86	イオン近江八幡ショッピングセンター	1991年 4月	35,000	3,000	—	935	1996年 3月	2	—	—	○	—	—
87	イオンモール京都五条	2004年 3月	36,000	1,700	11,000	1,820	2010年 9月	4	478	—	○	—	—
88	イオンモールKYOTO	2010年 6月	50,000	1,100	—	2,661	2011年 9月	5	414	—	—	—	急速1 普通1
89	イオンモール京都桂川	2014年10月	77,000	3,100	10,553	4,591	2014年10月	5	1,479	23	—	○	急速4 普通4
90	イオンモール久御山	1999年 6月	29,000	2,500	22,191	1,764	2011年 9月	2	284	7	—	○	急速1 普通1
91	イオンモール高の原	2007年 5月	44,000	2,100	17,158	2,597	^{2011年9月迄 2011年3月延長}	3	213	15	○	○	急速1
92	イオン洛南ショッピングセンター	1998年 7月	26,000	1,800	8,233	1,305	2011年 9月	2	188	—	—	—	急速1 普通1
93	イオンモール寝屋川	1978年 3月	24,000	700	50	736	2010年 6月	1	—	—	—	—	—
94	イオンモール堺北花田	2004年10月	72,000	2,800	6,000	3,520	2006年 9月	5	909	6	○	○	急速1 普通1
95	イオンモールりんくう泉南	2004年11月	76,000	4,300	66,000	3,160	2005年 9月	5	1,862	—	○	○	急速2 普通1
96	イオンモール鶴見緑地	2006年11月	53,000	2,200	12,000	2,238	2010年 6月	5	662	—	○	—	急速1
97	イオンモール四條畷	2015年10月	75,000	4,100	20,000	3,570	2015年10月	6	126	13	—	○	急速2 普通2
98	イオンモール日根野	1995年 4月	29,000	2,000	32,781	812	2011年 4月	2	474	42	—	—	急速1 普通1
99	イオンモール大日	2006年 9月	56,000	2,400	15,416	3,939	2008年 8月	1	894	16	—	○	急速2 普通1
100	イオンモール大阪ドームシティ	2013年 5月	34,000	700	4,200	1,582	2014年 1月	5	—	16	—	○	普通4
101	イオンモール茨木	2001年 1月	46,000	2,000	—	2,753	2008年 9月	2	264	32	○	—	急速1 普通1
102	イオンモール伊丹	2002年10月	57,000	2,800	30,000	3,112	2012年 2月	4	757	—	○	○	急速1 普通1
103	イオンモール神戸北	2006年11月	55,000	4,000	56,000	2,304	2006年10月	7	1,022	40	—	—	急速1 普通1
104	イオンモール姫路リバーシティ	1993年11月	36,000	2,600	11,817	1,642	2013年 3月	2	265	32	—	—	急速1 普通1
105	イオンモール猪名川	1998年 4月	29,000	2,000	38,818	1,288	2012年 2月	2	113	9	—	—	急速1 普通1
106	イオンモール姫路大津	2004年12月	34,000	2,600	16,151	1,263	2012年 2月	2	584	35	○	○	急速1 普通1
107	イオンモール加西北条	2008年11月	33,000	2,100	11,864	1,125	2012年 2月	4	309	14	○	○	急速1 普通1
108	イオンモール伊丹昆陽	2011年 3月	48,000	2,400	10,300	2,477	2012年 2月	6	213	23	○	○	急速1 普通4
109	イオン明石ショッピングセンター	1997年10月	58,000	3,500	—	1,388	2012年 2月	2	201	—	○	—	—
110	イオンモール橿原	2004年 4月	80,000	5,000	25,000	3,183	2010年11月	5	7,136	15	○	○	急速1 普通1
111	イオンモール大和郡山	2010年 3月	67,000	4,200	20,000	2,506	2010年 3月	4	925	11	○	—	急速1 普通1

近畿(つづき)		開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	氷蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
112	イオンモール奈良登美ヶ丘	2006年 7月	31,000	1,300	15,118	1,292	2007年 6月	2	144	3	—	—	急速1 普通1
113	イオンモール和歌山	2014年 3月	69,000	3,500	20,000	3,163	2014年 3月	4	2,374	17	—	○	急速4 普通2

中国・四国		開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	氷蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
114	イオンモール日吉津	1999年 3月	47,000	2,900	25,486	1,399	2006年 8月	2	8,818	11	○	○	急速1 普通1
115	イオンモール鳥取北	2000年 4月	48,000	3,100	9,000	1,143	2007年 3月	2	800	10	—	—	急速1 普通1
116	イオン松江ショッピングセンター	1994年 5月	32,000	1,800	—	1,198	1997年10月	2	384	20	○	—	—
117	イオンモール倉敷	1999年 9月	83,000	4,700	70,000	3,134	2006年 8月	6	13,609	29	—	○	急速4 普通1
118	イオンモール岡山	2014年12月	92,000	2,500	7,898	6,413	2014年11月	5	—	12	—	○	急速2
119	イオンモール津山	1996年12月	30,000	2,000	18,668	1,201	1998年 3月	2	834	10	—	—	急速1 普通1
120	イオンモール広島府中	2004年 3月	97,000	5,000	64,000	3,349	2007年 4月	4	—	—	○	—	—
121	イオンモール広島祇園	2009年 4月	50,000	2,800	20,000	2,348	2009年 9月	6	942	14	○	○	急速1 普通1
122	広島段原ショッピングセンター	2011年 9月	24,000	800	—	548	2012年10月	1	—	—	—	—	—
123	イオンモール高松	2007年 4月	47,000	3,000	12,500	1,188	2007年 6月	2	167	16	—	○	急速1 普通1
124	イオンモール綾川	2008年 7月	57,000	4,000	49,044	1,840	2008年 6月	3	1,093	16	—	○	急速1 普通1
125	イオンモール新居浜	2001年 6月	67,000	3,400	35,000	1,567	2006年 8月	5	1,386	10	—	○	急速1 普通1
126	イオンモール高知	2000年12月	57,000	3,100	23,000	2,521	2007年 9月	6	2,814	—	—	○	急速1 普通1

九州・沖縄		開店年月	総賃貸面積 (㎡)	駐車台数 (台)	植樹本数	モール 従業員数	防災協定 締結年月	AED 設置台数	献血 参加人数	登録身障者 専用駐車台数	氷蓄熱	太陽光 発電	EV 充電器
127	イオンモール福岡	2004年 6月	90,000	5,200	14,000	2,665	2012年 4月	6	1,957	21	○	—	急速1 普通1
128	イオンモール直方	2005年 4月	58,000	3,400	39,000	1,944	2006年 8月	4	927	20	—	—	急速1 普通1
129	イオンモール筑紫野	2008年12月	80,000	3,800	20,000	3,241	2009年 4月	6	3,680	17	—	○	—
130	イオンモール大牟田	2011年 3月	57,000	4,800	20,000	1,331	2011年 9月	3	1,233	16	—	—	普通1
131	イオンモール福津	2012年 4月	61,000	3,500	27,000	2,436	2012年 3月	4	1,332	25	—	○	普通2
132	イオンモール八幡東	2006年11月	41,000	2,200	19,242	1,936	2007年 8月	2	295	—	—	○	普通2
133	イオンモール宇城	1997年11月	63,000	3,300	50,000	885	2007年11月	2	279	—	○	—	—
134	イオンモール熊本	2005年10月	73,000	4,500	27,000	3,034	2006年10月	4	1,710	—	○	—	普通2
135	イオンモール三光	1996年12月	40,000	2,500	36,000	802	2006年 2月	3	919	—	—	—	急速1 普通1
136	イオンモール宮崎	2005年 5月	70,000	4,000	56,000	2,437	2006年 9月	6	2,673	—	—	○	普通1
137	イオンモール都城駅前	2008年12月	28,000	1,700	8,000	1,014	2008年11月	3	929	—	—	○	急速1 普通1
138	イオンモール沖縄ライカム	2015年 4月	78,000	4,000	26,000	3,529	—	6	1,163	—	—	○	急速4 普通4

2015年度 CSR会計報告



イオンモール株式会社では、環境保全活動や社会地域貢献活動のコストを把握し、CSR経営の指標とし、運用しています。環境保全活動では、2015年度の投資と費用が合計で127億58百万円、前年度比148.8%となりました。投資で目立つのは電気自動車充電器ですが、これは設置拡大、課金に伴うシステム機材導入などを実施した結果、前年度比

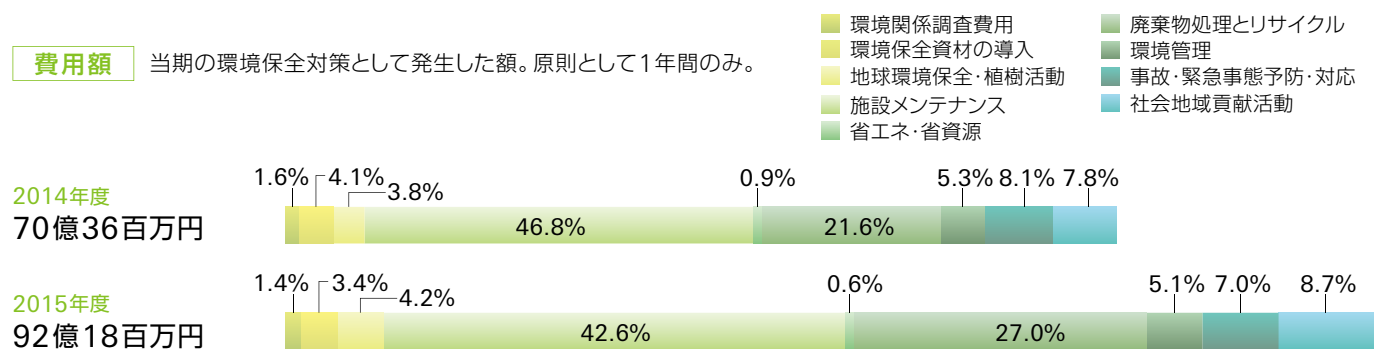
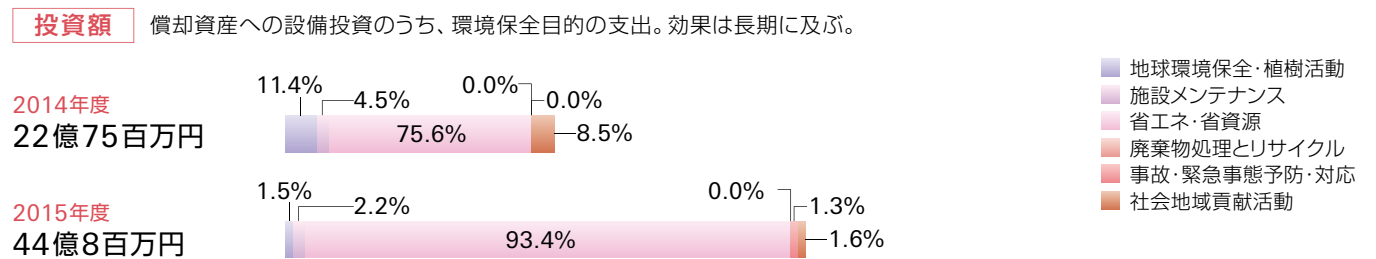
447.6%となりました。ショッピングモール運営に携わる企業として、エコ社会実現に貢献するインフラ整備投資を今後も充実させてまいります。また、照明の100% LED化をめざす投資や省エネルギーマネジメントの導入などにより、地球温暖化防止対策を強化しています。社会地域貢献活動については、投資と費用合計で8億68

百万円、前年度比117.4%となりました。主要な取り組みとしては、働きやすい職場の実現を目的としたイオンゆめみらい保育園の運営、経営ビジョンにも掲げたローカライズへの挑戦、そして海外からのお客さまにも快適なショッピング環境を提供するインバウンド推進が挙げられます。

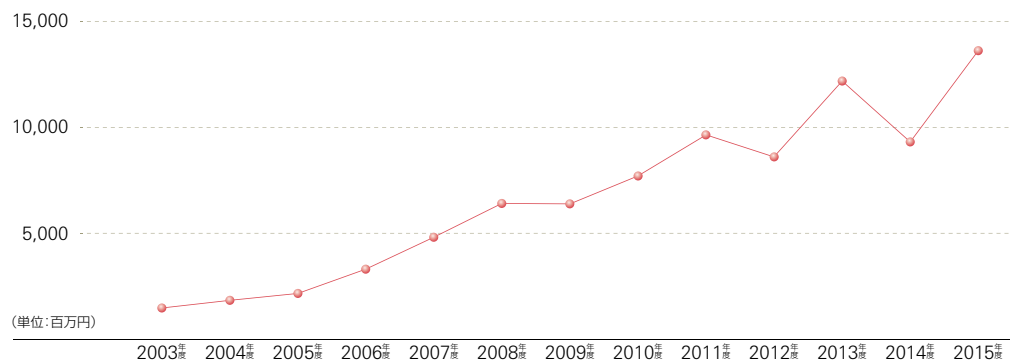
また、費用は環境保全活動・社会地域貢献活動の合計で前年度比131.0%で推移しています。大気汚染防止対策や水質管理などに設備投資を行ったほか、運用管理において管理を強化したことが増加要因になりました。CSR会計全体としては、前年度比146.3%の計上となりました。

● 環境保全コストの主な内訳

	投 資			費 用			総合計		
	2014年度	2015年度	前年比	2014年度	2015年度	前年比	2014年度	2015年度	前年比
環境関係調査費用	—	—	—	109	130	118.9%	109	130	118.9%
環境保全資材の導入	—	—	—	290	311	107.4%	290	311	107.4%
地球環境保全・植樹活動	259	64	25.0%	267	386	144.2%	527	451	85.5%
施設メンテナンス	101	96	95.1%	3,289	3,927	119.4%	3,391	4,024	118.7%
省エネ・省資源	1,719	4,116	239.4%	65	62	94.9%	1,785	4,178	234.1%
電気自動車充電スタンド	118	540	456.1%	3	5	156.8%	121	545	447.6%
エスカレーター	61	4	6.8%	—	—	—	61	4	6.8%
太陽光発電システム	732	703	96.0%	20	29	140.8%	753	733	97.3%
LED	647	2,493	385.4%	—	—	—	657	2,493	385.4%
節水機器	70	19	27.3%	—	—	—	70	19	27.3%
その他	89	355	398.5%	41	27	66.8%	120	383	292.9%
廃棄物処理とリサイクル	—	1	—	1,519	2,492	164.0%	1,519	2,493	164.1%
環境管理	—	—	—	374	466	124.5%	374	466	124.5%
事故・緊急事態予防・対応	—	60	—	572	640	112.0%	572	701	122.5%
環境保全活動 小計	2,080	4,339	208.5%	6,490	8,419	129.7%	8,571	12,758	148.8%
社会地域貢献活動 小計	194	69	35.7%	545	798	146.5%	739	868	117.4%
総合計	2,275	4,408	193.8%	7,036	9,218	131.0%	9,311	13,626	146.3%



投資+費用総額の年度別推移



(単位:百万円)

2003年度	1,468
2004年度	1,829
2005年度	2,155
2006年度	3,300
2007年度	4,808
2008年度	6,405
2009年度	6,385
2010年度	7,702
2011年度	9,644
2012年度	8,604
2013年度	12,186
2014年度	9,311
2015年度	13,626

※2007年度下期以降は合併後の数値

期間:2015年3月1日～2016年2月29日 範囲:イオンモール(株)ISO14001適用範囲内とする

①複合コスト 環境目的以外のコストと結合している場合についても、原則として全額計上しています。

②人件費 イオンモール従業員の人件費は原則として計上していません。ただし「施設メンテナンス」「廃棄物処理とリサイクル」は人件費を計上しています。

③投資 期中に発生した環境負荷低減の関連機器および施設への投資額で計上しています。(リース契約の場合は、費用に計上)導入後、移管もしくは変動したものも導入時の金額が判明している場合は投資として計上しています。(氷蓄熱システムなど)

④減価償却費 減価償却費は計上していません。

第三者意見

立教大学経営学部教授

高岡 美佳 氏

【プロフィール】

青山学院大学経営学部卒。東京大学大学院経済学研究科で博士号取得。大阪市立大学助教授、立教大学経営学部助教授などを経て2009年4月より現職。主な研究テーマは、流通経済論、CSRとブランド価値、システムと消費者行動。著書に『サステナブル・ライフスタイルナビゲーション』（日科技連出版社、2007年）など。



● 評価できること

■イオンモールのCSRレポートに第三者意見を寄せるのは今回で2回目となります。本レポートは「地域とともに『暮らしの未来』をつくるLife Design Developer」を経営理念とするイオンモールの多角的な活動を、特集および社が掲げるCSRの5つの柱に沿って報告しています。今年度は、女性の管理職比率も新たに掲載されるなど内容が一層充実した印象を受けます。また、昨年度に引き続き、ステークホルダーの生の声や現場の写真も多く掲載されており、CSRコミュニケーションの点から見ても優れたレポートと言えるでしょう。

■昨年度も第三者意見として書かせていただきましたが、ショッピングモールを取り巻く経営環境は大きく変わりつつあります。大規模商業施設が一定数に達している国内において、ショッピングモールは今後、「地域の特色を魅力的に映し出し、周辺に暮らす皆さまのライフステージに応じたニーズを満たす商業施設」としての役割を強く求められます。今回のレポートでは、New Mall Information(p.6-7)で社が2015年度にオープンした「海と空を120%楽しむエンターテインメントパーク」イオンモール常滑などの個性豊かなコンセプトモールが紹介されています。また、特集1(p.8-13)では、時代の変化や地域の新しいニーズに対応するために行っている既存モールのリニューアルや「究極のローカライゼーション企画」を取り上げています。個々の地域の開発を通じて人々の幸せや持続的な生活をサポートするディベロッパーという業種にとって、これこそが第一義的に果たさなくてはならない重要な社会的責任と言えるでしょう。同社の本業を通じた社会的責任意識の高さを評価したいと思います。

■特集1(p.8-13)では、それ以外に、性別・雇用形態の異なる従業員がワークライフバランスを実現しながらイオンモールで働く様子が描かれています。社員の職場環境報告(p.28-29)にあるように、イオン(株)・UNIグローバルユニ

オン・UAゼンセン・イオングループ労働組合連合会の4者は、国内で3例目となる「グローバル枠組み協定」を締結しており、協定内容にはILO(国際労働機関)中核的8条約の尊重が含まれています。また、モールで働く地域雇用の従業員に対してもキャリア支援や子育て支援に関して手厚い制度を備えています。社員・従業員は企業にとって重要なステークホルダーであり、生産人口が減少する国内においてその重要性はますます高まるでしょう。今後もぜひ活動を継続していただきたいと思います。

■イオングループは環境保全意識が高いことで定評がありますが、同グループに属するイオンモールも例外ではありません。本レポート内の環境配慮報告(p.32-35)にあるように、同社は2015年にGRESB調査において「グリーンスター」評価を取得しました。また、グループ全体のEV(電気自動車)充電器の設置数は2016年4月時点で193拠点のEV充電ステーションを構築しています。その他、廃棄物削減、資源回収・リサイクル、水質保全、省エネルギー、生物多様性への配慮など従来から力を入れてきた項目についても意欲を持って取り組んでいます。特集3(p.16-19)からわかるように、同社は海外出店を加速させていますが、海外店舗においても太陽光発電やコジェネレーションシステムを積極的に導入し認証評価を取得しています。同社の環境意識の高さを評価したいと思います。

● 要望したいこと

■CSR活動を適正かつ継続的に改善していくためにはPDCAサイクルの導入が不可欠です。次回のレポートでは、イオンモールが自ら重要だと考えて実施している主なCSR活動について、その目的や取り組み内容、目標値、達成度などを一覧の形でぜひ示していただきたいと思います。また、中期的にはISO26000の7つの中核主題のフレームワークを使ってCSR活動を整理することも検討してはいかがでしょうか。



最後までお読みいただきましてありがとうございました。
当社のCSR活動に関する情報は
ウェブサイトにも順次掲載してまいります。
どうぞご参照ください。

イオンモール CSR

検索



イオンモール株式会社

〒261-8539

千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1 イオンタワービル7階

TEL:043-212-6348 FAX:043-212-6779

<http://www.aeonmall.com>

イオンモール株式会社は、
環境マネジメントシステムの
国際規格「ISO14001」の
認証取得企業です。

